

「男女共同参画社会に関する世論調査」の概要

令和5年3月
内閣府政府広報室

調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者5,000人
有効回収数2,847人（有効回収率56.9%）

調査期間 令和4年11月24日～令和5年1月1日

調査方法 郵送法

調査目的 男女共同参画社会に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

調査項目 1 男女共同参画社会に関する意識について
2 家庭生活等に関する意識について
3 夫婦の名字・姓に関する意識について
4 女性に対する暴力等に関する意識について
5 男女共同参画社会に関する行政への要望について

調査実績 「男女共同参画社会に関する世論調査」

（平成9年9月、平成12年2月、平成14年7月、平成16年11月、
平成19年8月、平成21年10月、平成24年10月、平成28年9月、
令和元年9月）

「男女平等に関する世論調査」（平成4年11月）

「男性のライフスタイルに関する世論調査」（平成5年10月）

「男女共同参画に関する世論調査」（平成7年7月）

「女性の活躍推進に関する世論調査」（平成26年8月）

関係府省庁 内閣府（男女共同参画局）

その他 1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。
2 令和元年9月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年11月調査との単純比較は行わない。また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。
3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 男女共同参画社会に関する意識について

(1) 各分野の男女の地位の平等感

ア 家庭生活における男女の地位の平等感

問1(1) あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
(1) 家庭生活

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	59.8%
・男性の方が非常に優遇されている	9.0%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	50.8%
・平等	31.7%
・女性の方が優遇されている(小計)	8.0%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	7.0%
・女性の方が非常に優遇されている	1.0%

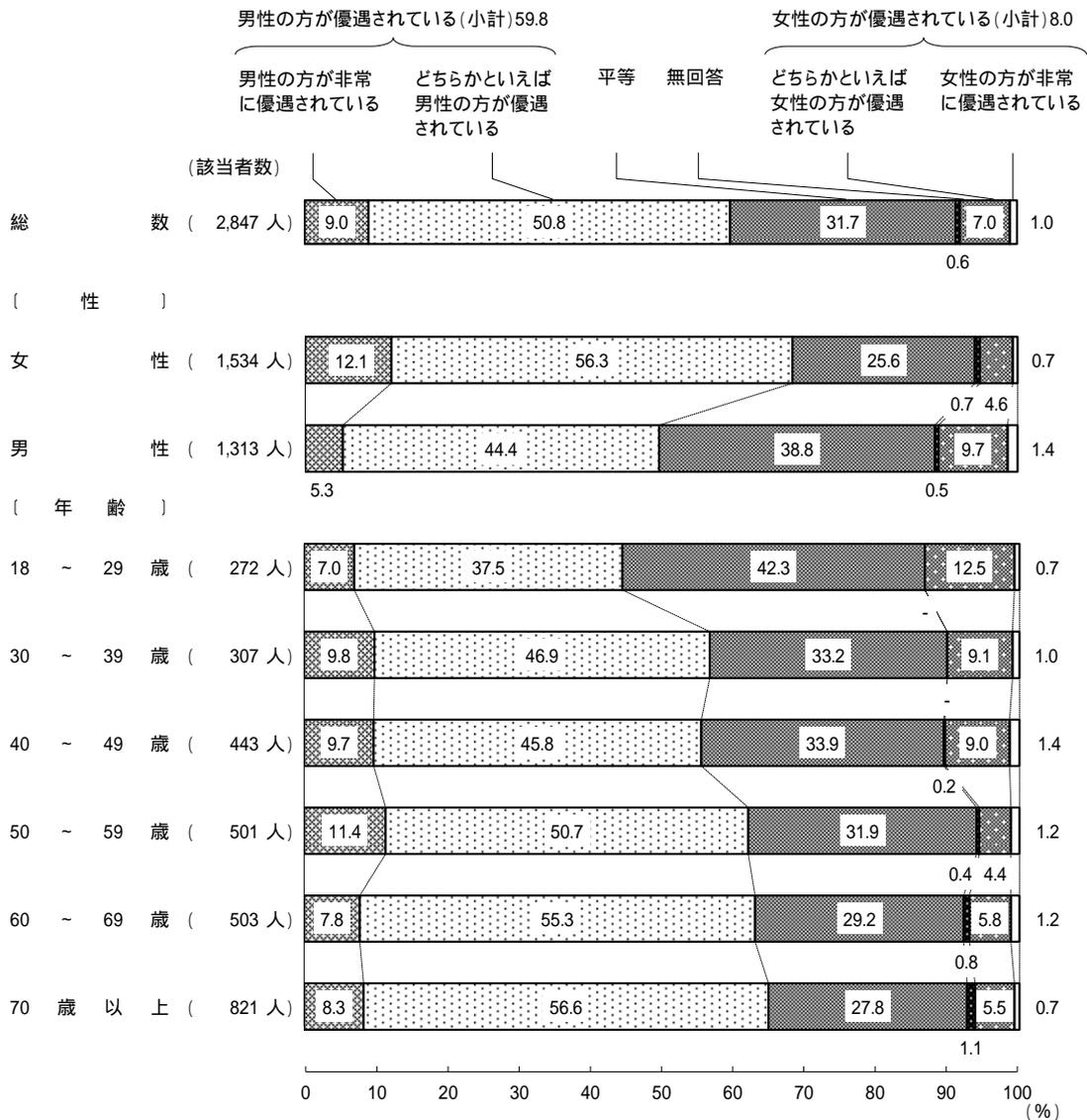


表1 家庭生活における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常に	男性ど 性のち のらか がと 優い 遇え さば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど 性のち のらか がと 優い 遇え さば	優女性 遇性の された 方が 非常に	無 回 答
			れ	優	れ	平	れ	れ	優	
			%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847		59.8	9.0	50.8	31.7	8.0	7.0	1.0	0.6
〔都市規模〕										
大都市	811		60.0	9.9	50.2	31.3	8.1	7.6	0.5	0.5
東京都	186		61.3	9.7	51.6	30.1	7.5	7.5	-	1.1
政令指定都市	625		59.7	9.9	49.8	31.7	8.3	7.7	0.6	0.3
中都市	1,141		57.0	8.9	48.1	34.1	8.4	7.0	1.4	0.5
小都市	641		62.4	8.4	54.0	29.6	7.2	6.1	1.1	0.8
町	254		65.0	8.3	56.7	27.2	7.5	6.7	0.8	0.4
〔性〕										
女性	1,534		68.4	12.1	56.3	25.6	5.3	4.6	0.7	0.7
男性	1,313		49.7	5.3	44.4	38.8	11.0	9.7	1.4	0.5
〔年齢〕										
18～29歳	272		44.5	7.0	37.5	42.3	13.2	12.5	0.7	-
30～39歳	307		56.7	9.8	46.9	33.2	10.1	9.1	1.0	-
40～49歳	443		55.5	9.7	45.8	33.9	10.4	9.0	1.4	0.2
50～59歳	501		62.1	11.4	50.7	31.9	5.6	4.4	1.2	0.4
60～69歳	503		63.0	7.8	55.3	29.2	7.0	5.8	1.2	0.8
70歳以上	821		64.9	8.3	56.6	27.8	6.2	5.5	0.7	1.1

表1 - 参考 家庭生活における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常に	男性ど 性のち のらか がと 優い 遇え さば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど 性のち のらか がと 優い 遇え さば	優女性 遇性の された 方が 非常に	わ か ら な い
			れ	優	れ	平	れ	れ	優	
			%	%	%	%	%	%	%	%
平成4年11月調査	3,524		56.9	13.3	43.6	35.2	5.2	4.7	0.6	2.7
平成7年7月調査	3,459		53.6	11.0	42.6	39.0	4.9	4.0	0.9	2.5
平成12年2月調査	3,378		50.7	10.5	40.2	39.7	6.5	5.4	1.0	3.1
平成14年7月調査	3,561		50.2	11.5	38.7	40.4	6.0	5.1	1.0	3.3
平成16年11月調査	3,502		49.3	10.8	38.5	39.9	8.2	6.7	1.4	2.6
平成19年8月調査	3,118		48.2	8.4	39.8	42.0	7.5	6.5	1.1	2.2
平成21年10月調査	3,240		46.5	7.8	38.7	43.1	8.4	6.7	1.7	1.9
平成24年10月調査	3,033		43.3	8.5	34.7	47.0	7.4	6.1	1.3	2.3
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999		43.8	7.9	35.9	47.0	6.8	6.0	0.9	2.4
平成28年9月調査	3,059		43.4	7.8	35.7	47.4	6.8	5.9	0.8	2.4
令和元年9月調査	2,645		44.9	9.3	35.6	45.5	7.2	6.5	0.7	2.4

- (注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。
- (注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。
- (注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。
- (注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。
- (注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

イ 職場における男女の地位の平等感

問1(2)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)
(2) 職場

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	64.1%
・男性の方が非常に優遇されている	16.0%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	48.1%
・平等	26.4%
・女性の方が優遇されている(小計)	7.7%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	6.5%
・女性の方が非常に優遇されている	1.2%

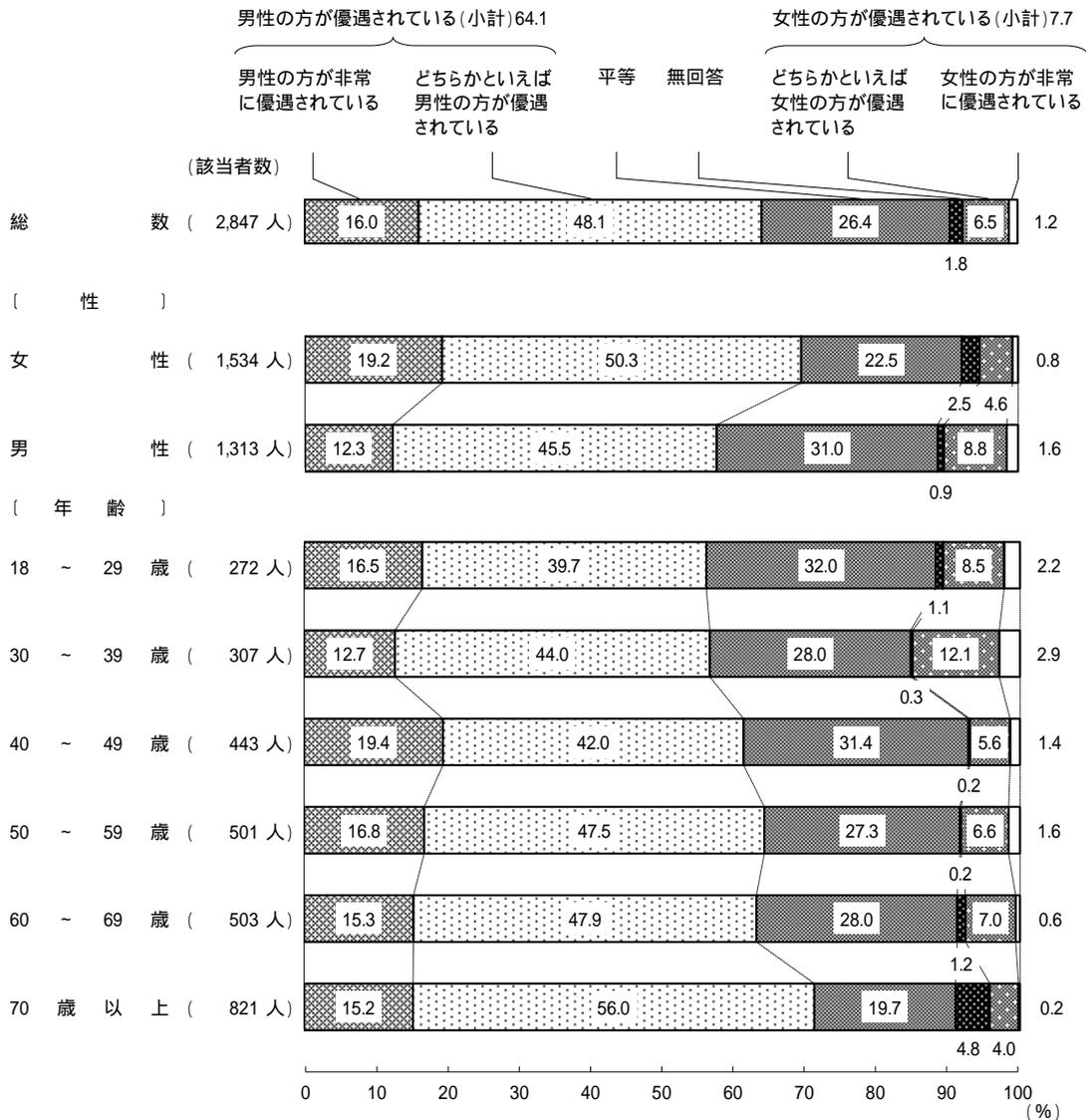


表2 職場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	男性の方が優遇さ れている(小計)			平 等	女性の方が優遇さ れている(小計)			無 回 答
		優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度		優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 政 令 指 定 都 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 女 性 男 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	人 2,847	% 64.1	% 16.0	% 48.1	% 26.4	% 7.7	% 6.5	% 1.2	% 1.8
大 都 市	811	66.3	18.2	48.1	24.3	7.4	6.5	0.9	2.0
東 京 都 区	186	59.7	14.0	45.7	30.1	8.6	7.0	1.6	1.6
政 令 指 定 都 市	625	68.3	19.5	48.8	22.6	7.0	6.4	0.6	2.1
中 都 市	1,141	62.9	16.0	46.9	27.3	7.8	6.5	1.3	2.0
小 都 市	641	62.6	13.9	48.7	27.9	7.8	6.6	1.2	1.7
町 村	254	65.7	14.2	51.6	25.6	8.3	6.7	1.6	0.4
〔性〕 女 性	1,534	69.5	19.2	50.3	22.5	5.5	4.6	0.8	2.5
男 性	1,313	57.7	12.3	45.5	31.0	10.4	8.8	1.6	0.9
〔年 齢〕 18 ~ 29 歳	272	56.3	16.5	39.7	32.0	10.7	8.5	2.2	1.1
30 ~ 39 歳	307	56.7	12.7	44.0	28.0	15.0	12.1	2.9	0.3
40 ~ 49 歳	443	61.4	19.4	42.0	31.4	7.0	5.6	1.4	0.2
50 ~ 59 歳	501	64.3	16.8	47.5	27.3	8.2	6.6	1.6	0.2
60 ~ 69 歳	503	63.2	15.3	47.9	28.0	7.6	7.0	0.6	1.2
70 歳 以 上	821	71.3	15.2	56.0	19.7	4.3	4.0	0.2	4.8

表2 - 参考 職場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	男性の方が優遇さ れている(小計)			平 等	女性の方が優遇さ れている(小計)			わ か ら な い
		優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度		優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	優 遇 さ れ て い る 方 が と い う 程 度	
平成4年11月調査	人 3,524	% 60.1	% 17.2	% 42.9	% 21.9	% 4.0	% 3.5	% 0.5	% 14.0
平成7年7月調査	3,459	59.3	17.3	42.0	25.2	3.6	3.1	0.5	11.9
平成12年2月調査	3,378	60.7	16.4	44.3	24.5	3.3	3.0	0.3	11.4
平成14年7月調査	3,561	59.0	18.0	41.0	25.9	3.1	2.8	0.3	12.0
平成16年11月調査	3,502	59.5	16.7	42.7	25.0	4.2	3.7	0.5	11.3
平成19年8月調査	3,118	60.9	15.7	45.2	23.9	4.5	3.8	0.7	10.7
平成21年10月調査	3,240	62.1	15.6	46.5	24.4	5.3	4.4	0.9	8.1
平成24年10月調査	3,033	57.7	15.6	42.1	28.5	4.6	4.2	0.5	9.2
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999	56.7	15.2	41.5	29.8	4.7	4.1	0.6	8.8
平成28年9月調査	3,059	56.6	15.1	41.5	29.7	4.7	4.1	0.6	9.0
令和元年9月調査	2,645	53.5	13.6	39.8	30.7	5.0	4.5	0.5	10.9

- (注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。
- (注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。
- (注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。
- (注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。
- (注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

ウ 学校教育の場における男女の地位の平等感

問1(3)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
(3) 学校教育の場

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	24.5%
・男性の方が非常に優遇されている	3.0%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	21.5%
・平等	68.1%
・女性の方が優遇されている(小計)	5.3%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	4.7%
・女性の方が非常に優遇されている	0.6%

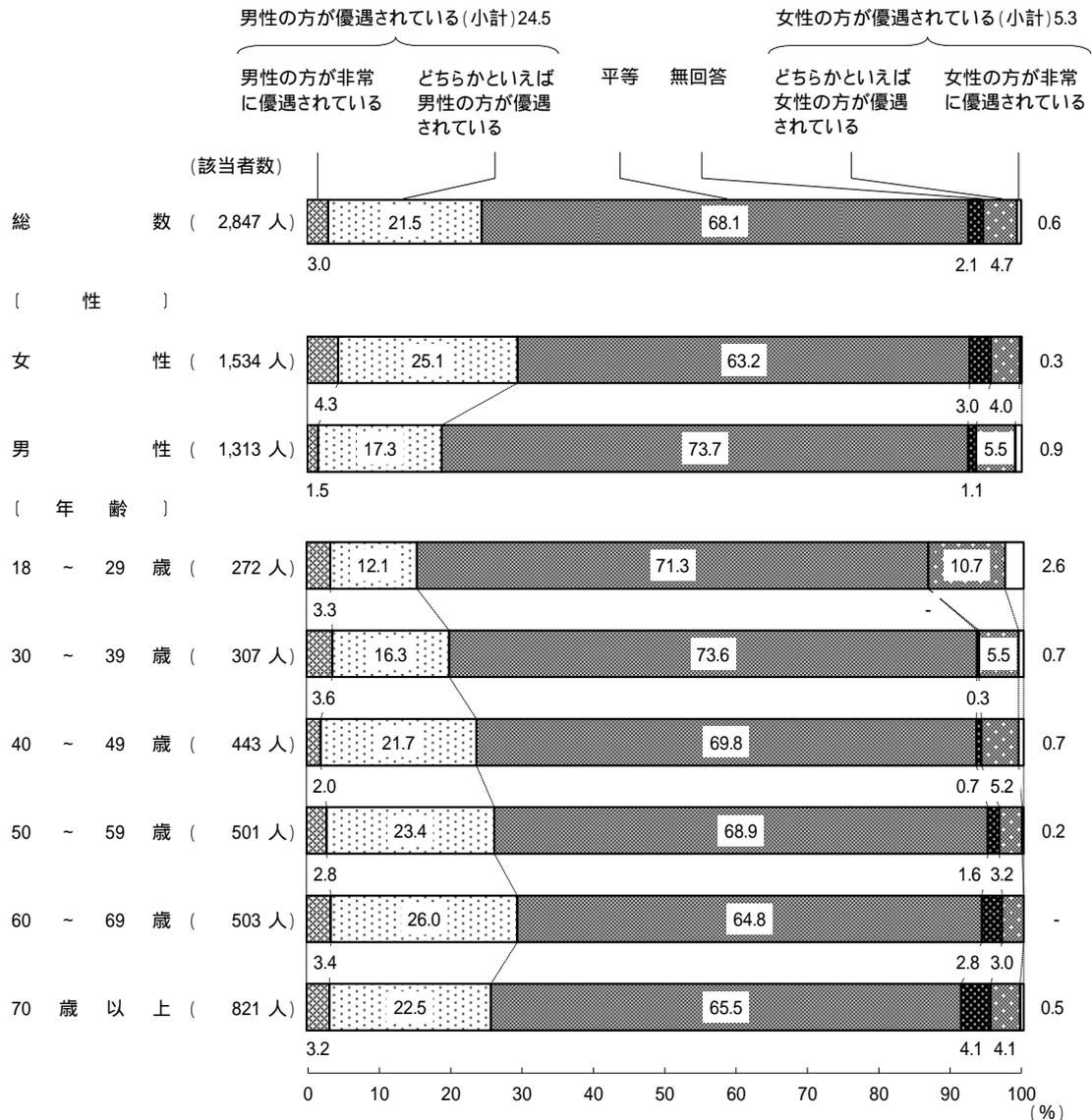


表3 学校教育の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	男性 の方が 優遇さ れている (小計) %	優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に %	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば %	平 等 %	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計) %	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば %	優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に %	無 回 答 %
総数	2,847	24.5	3.0	21.5	68.1	5.3	4.7	0.6	2.1
〔都市規模〕									
大都市	811	26.3	3.9	22.3	66.6	5.7	5.2	0.5	1.5
東京都区部	186	25.8	3.2	22.6	66.1	6.5	4.8	1.6	1.6
政令指定都市	625	26.4	4.2	22.2	66.7	5.4	5.3	0.2	1.4
中都市	1,141	22.5	2.0	20.5	70.3	5.1	4.6	0.4	2.1
小都市	641	26.2	3.4	22.8	65.8	5.3	4.7	0.6	2.7
町	254	23.6	3.5	20.1	68.5	5.1	3.5	1.6	2.8
〔性〕									
女性	1,534	29.4	4.3	25.1	63.2	4.4	4.0	0.3	3.0
男性	1,313	18.8	1.5	17.3	73.7	6.4	5.5	0.9	1.1
〔年齢〕									
18～29歳	272	15.4	3.3	12.1	71.3	13.2	10.7	2.6	-
30～39歳	307	19.9	3.6	16.3	73.6	6.2	5.5	0.7	0.3
40～49歳	443	23.7	2.0	21.7	69.8	5.9	5.2	0.7	0.7
50～59歳	501	26.1	2.8	23.4	68.9	3.4	3.2	0.2	1.6
60～69歳	503	29.4	3.4	26.0	64.8	3.0	3.0	-	2.8
70歳以上	821	25.7	3.2	22.5	65.5	4.6	4.1	0.5	4.1

表3 - 参考 学校教育の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	男性 の方が 優遇さ れている (小計) %	優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に %	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば %	平 等 %	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計) %	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば %	優 遇 さ れ て い る 方 が 非 常 に %	わ か ら な い %
平成4年11月調査	3,524	15.4	2.6	12.7	60.6	5.0	4.3	0.6	19.1
平成7年7月調査	3,459	13.0	1.7	11.3	65.2	3.5	3.0	0.5	18.3
平成12年2月調査	3,378	14.8	2.5	12.3	63.9	3.8	3.4	0.4	17.5
平成14年7月調査	3,561	14.5	2.8	11.8	63.1	3.5	3.1	0.5	18.8
平成16年11月調査	3,502	13.6	2.3	11.4	66.8	3.6	3.1	0.4	16.0
平成19年8月調査	3,118	15.1	2.3	12.8	63.4	4.3	3.8	0.4	17.2
平成21年10月調査	3,240	14.0	1.9	12.0	68.1	4.8	3.9	0.9	13.1
平成24年10月調査	3,033	13.5	2.4	11.0	67.0	3.8	3.0	0.7	15.8
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999	16.0	2.5	13.6	66.1	3.2	2.9	0.3	14.7
平成28年9月調査	3,059	16.0	2.5	13.5	66.4	3.2	2.9	0.3	14.4
令和元年9月調査	2,645	18.5	3.3	15.2	61.2	2.6	2.3	0.3	17.7

- (注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。
- (注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。
- (注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。
- (注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。
- (注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

エ 政治の場における男女の地位の平等感

問1(4)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
(4)政治の場

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	87.9%
・男性の方が非常に優遇されている	46.4%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	41.5%
・平等	9.6%
・女性の方が優遇されている(小計)	1.7%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	1.4%
・女性の方が非常に優遇されている	0.3%

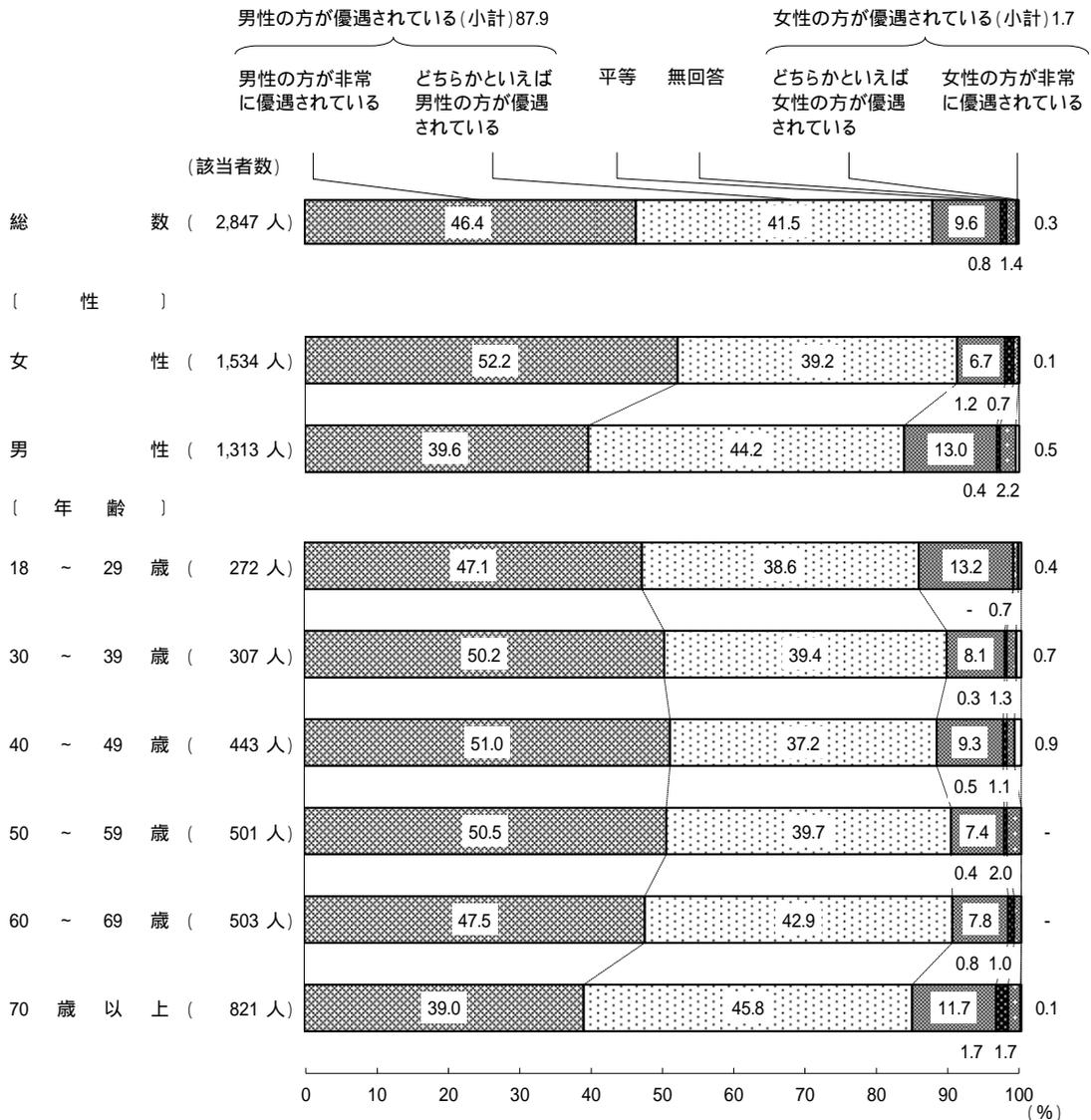


表4 政治の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が非 常に	男性ど ちらか がと優 い遇え れば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど ちらか がと優 い遇え れば	優女性 のされ た方が 非常に	無 回 答
			れ	優	れ	平	れ	れ	優	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847		87.9	46.4	41.5	9.6	1.7	1.4	0.3	0.8
〔都市規模〕										
大都市	811		89.4	52.4	37.0	8.3	1.6	1.2	0.4	0.7
東京都	186		91.9	58.1	33.9	4.8	2.2	1.6	0.5	1.1
政令指定都市	625		88.6	50.7	37.9	9.3	1.4	1.1	0.3	0.6
中都市	1,141		88.4	44.9	43.6	9.0	1.8	1.5	0.3	0.8
小都市	641		86.3	42.4	43.8	11.4	1.1	0.9	0.2	1.2
町	254		84.6	43.7	40.9	12.2	3.1	2.8	0.4	-
〔性〕										
女性	1,534		91.3	52.2	39.2	6.7	0.8	0.7	0.1	1.2
男性	1,313		83.9	39.6	44.2	13.0	2.7	2.2	0.5	0.4
〔年齢〕										
18～29歳	272		85.7	47.1	38.6	13.2	1.1	0.7	0.4	-
30～39歳	307		89.6	50.2	39.4	8.1	2.0	1.3	0.7	0.3
40～49歳	443		88.3	51.0	37.2	9.3	2.0	1.1	0.9	0.5
50～59歳	501		90.2	50.5	39.7	7.4	2.0	2.0	-	0.4
60～69歳	503		90.5	47.5	42.9	7.8	1.0	1.0	-	0.8
70歳以上	821		84.8	39.0	45.8	11.7	1.8	1.7	0.1	1.7

表4 - 参考 政治の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が非 常に	男性ど ちらか がと優 い遇え れば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど ちらか がと優 い遇え れば	優女性 のされ た方が 非常に	わ か ら な い
			れ	優	れ	平	れ	れ	優	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成4年11月調査	3,524		78.0	37.9	40.1	13.1	1.2	1.0	0.2	7.7
平成7年7月調査	3,459		67.1	22.7	44.4	22.4	1.5	1.5	0.0	9.0
平成12年2月調査	3,378		72.0	29.2	42.8	19.0	1.0	0.9	0.2	7.9
平成14年7月調査	3,561		72.4	30.2	42.2	18.8	2.1	1.8	0.3	6.6
平成16年11月調査	3,502		72.0	30.9	41.0	19.7	1.3	1.1	0.2	7.1
平成19年8月調査	3,118		67.9	22.6	45.3	23.2	2.9	2.6	0.3	6.0
平成21年10月調査	3,240		71.8	23.7	48.1	21.0	2.1	1.9	0.3	5.1
平成24年10月調査	3,033		74.0	30.0	44.0	18.6	1.2	0.9	0.3	6.3
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999		73.5	27.1	46.4	18.9	2.3	2.0	0.3	5.3
平成28年9月調査	3,059		73.5	27.1	46.3	18.9	2.3	2.0	0.3	5.4
令和元年9月調査	2,645		79.0	35.0	44.0	14.4	1.2	1.1	0.1	5.4

(注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。

(注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。

(注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。

(注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。

(注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。

(注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

オ 法律や制度の上での男女の地位の平等感

問1(5)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
(5)法律や制度の上

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	52.3%
・男性の方が非常に優遇されている	11.7%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	40.6%
・平等	37.0%
・女性の方が優遇されている(小計)	9.7%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.3%
・女性の方が非常に優遇されている	1.4%

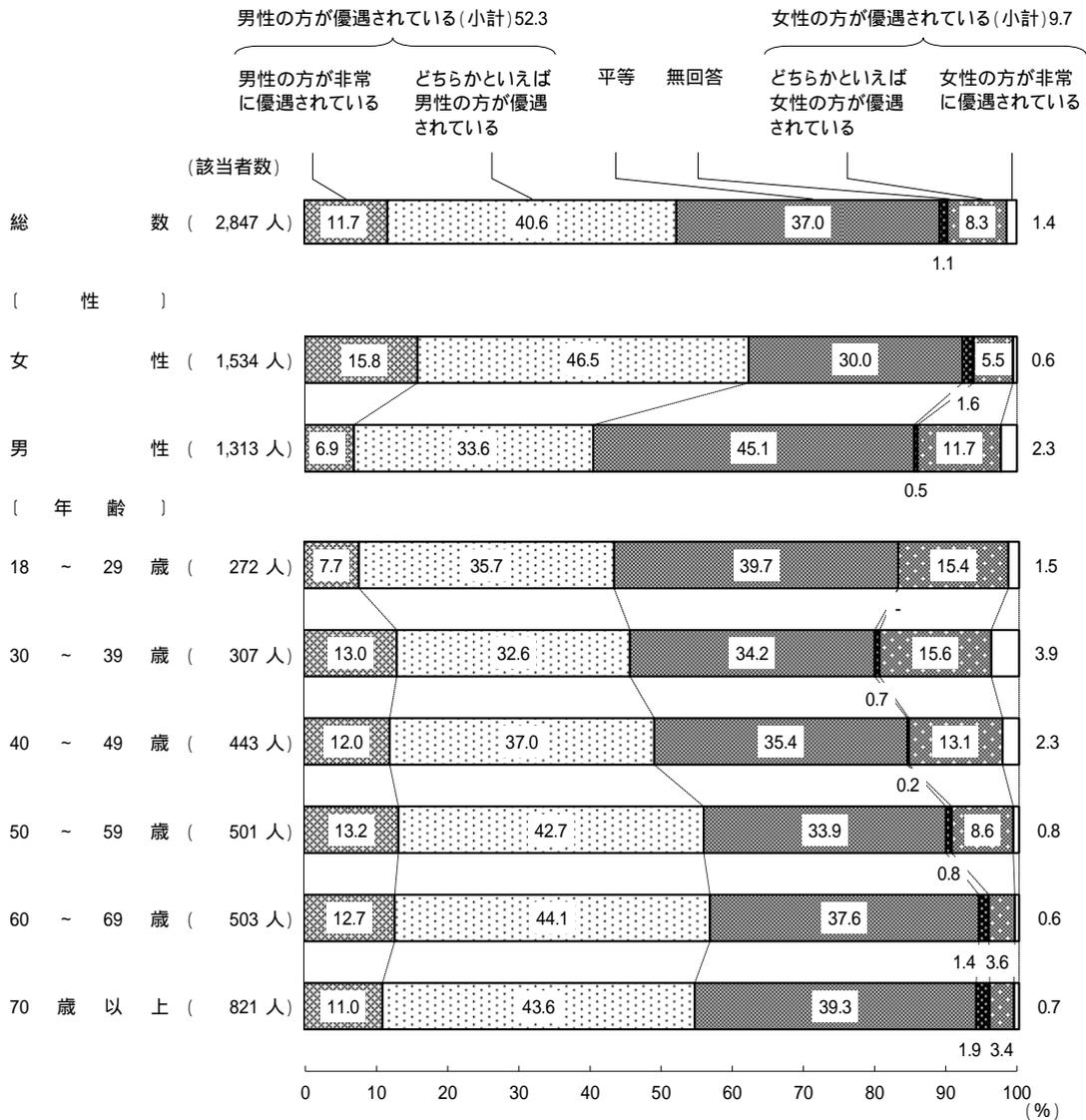


表5 法律や制度の上での男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性	優	れ	平	れ	れ	優	無 回 答
			性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計)	男 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば	等	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計)	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	
			%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847		52.3	11.7	40.6	37.0	9.7	8.3	1.4	1.1
〔都市規模〕										
大都市	811		57.2	12.0	45.3	32.4	9.5	8.3	1.2	0.9
東京都	186		60.2	14.0	46.2	28.0	10.8	8.6	2.2	1.1
政令指定都市	625		56.3	11.4	45.0	33.8	9.1	8.2	1.0	0.8
中都市	1,141		50.4	11.9	38.5	37.8	10.9	9.1	1.8	1.0
小都市	641		49.1	10.5	38.7	40.6	8.7	7.6	1.1	1.6
町	254		53.1	13.4	39.8	38.6	7.5	6.7	0.8	0.8
〔性〕										
女性	1,534		62.4	15.8	46.5	30.0	6.1	5.5	0.6	1.6
男性	1,313		40.5	6.9	33.6	45.1	13.9	11.7	2.3	0.5
〔年齢〕										
18～29歳	272		43.4	7.7	35.7	39.7	16.9	15.4	1.5	-
30～39歳	307		45.6	13.0	32.6	34.2	19.5	15.6	3.9	0.7
40～49歳	443		49.0	12.0	37.0	35.4	15.3	13.1	2.3	0.2
50～59歳	501		55.9	13.2	42.7	33.9	9.4	8.6	0.8	0.8
60～69歳	503		56.9	12.7	44.1	37.6	4.2	3.6	0.6	1.4
70歳以上	821		54.6	11.0	43.6	39.3	4.1	3.4	0.7	1.9

表5 - 参考 法律や制度の上での男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性	優	れ	平	れ	れ	優	わ か ら な い
			性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計)	男 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば	等	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る (小計)	ど ち ら か と 優 い 遇 え ば	女 性 の 方 が 非 常 に 優 遇 さ れ て い る	
			%	%	%	%	%	%	%	%
平成4年11月調査	3,524		48.6	14.0	34.5	38.5	2.4	2.1	0.3	10.5
平成7年7月調査	3,459		44.4	9.2	35.2	40.4	3.0	2.7	0.3	12.1
平成12年2月調査	3,378		48.1	11.8	36.3	38.6	2.9	2.6	0.3	10.4
平成14年7月調査	3,561		48.4	13.0	35.4	36.0	4.7	4.1	0.6	10.9
平成16年11月調査	3,502		46.1	11.7	34.4	39.3	5.1	4.3	0.8	9.5
平成19年8月調査	3,118		46.3	10.6	35.8	39.5	5.1	4.4	0.7	9.0
平成21年10月調査	3,240		41.4	7.8	33.5	44.4	7.3	6.5	0.9	6.9
平成24年10月調査	3,033		38.2	8.7	29.5	45.4	7.4	6.2	1.1	9.0
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999		45.5	10.7	34.8	40.6	5.6	4.9	0.7	8.2
平成28年9月調査	3,059		45.2	10.6	34.7	40.8	5.7	5.0	0.7	8.3
令和元年9月調査	2,645		46.9	10.3	36.6	39.7	4.4	4.0	0.4	9.0

- (注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。
- (注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。
- (注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。
- (注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。
- (注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

カ 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感

問1(6)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
(6)社会通念・慣習・しきたりなど

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	81.8%
・男性の方が非常に優遇されている	24.1%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	57.8%
・平等	12.9%
・女性の方が優遇されている(小計)	3.3%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.1%
・女性の方が非常に優遇されている	0.3%

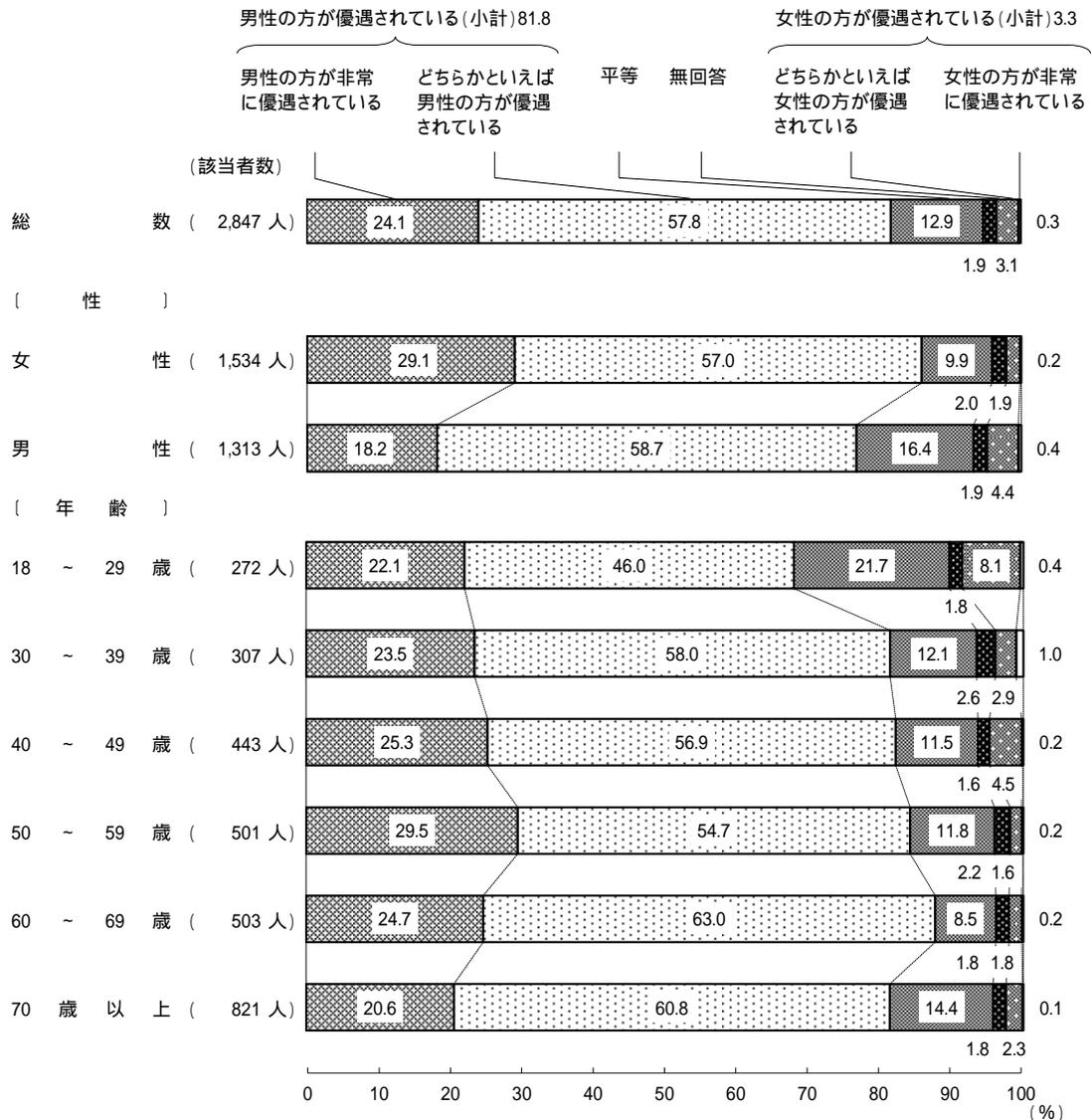


表6 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感

	該当者数	男性の方が優遇されている(小計)			平等	女性の方が優遇されている(小計)			無回答
		優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	優遇されている(小計)		優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	81.8	24.1	57.8	12.9	3.3	3.1	0.3	1.9
〔都市規模〕									
大都市	811	84.0	26.5	57.5	10.2	3.6	3.6	-	2.2
東京都区部	186	86.0	31.2	54.8	10.8	3.2	3.2	-	-
政令指定都市	625	83.4	25.1	58.2	10.1	3.7	3.7	-	2.9
中都市	1,141	82.0	22.0	60.0	12.9	3.5	3.0	0.5	1.6
小都市	641	78.9	22.5	56.5	15.8	2.8	2.7	0.2	2.5
町村	254	81.5	29.5	52.0	14.2	3.1	2.8	0.4	1.2
〔性別〕									
女性	1,534	86.0	29.1	57.0	9.9	2.1	1.9	0.2	2.0
男性	1,313	76.9	18.2	58.7	16.4	4.8	4.4	0.4	1.9
〔年齢〕									
18～29歳	272	68.0	22.1	46.0	21.7	8.5	8.1	0.4	1.8
30～39歳	307	81.4	23.5	58.0	12.1	3.9	2.9	1.0	2.6
40～49歳	443	82.2	25.3	56.9	11.5	4.7	4.5	0.2	1.6
50～59歳	501	84.2	29.5	54.7	11.8	1.8	1.6	0.2	2.2
60～69歳	503	87.7	24.7	63.0	8.5	2.0	1.8	0.2	1.8
70歳以上	821	81.4	20.6	60.8	14.4	2.4	2.3	0.1	1.8

表6 - 参考 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感

	該当者数	男性の方が優遇されている(小計)			平等	女性の方が優遇されている(小計)			わからない
		優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	優遇されている(小計)		優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	優遇されている(小計)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成4年11月調査	3,524	76.5	24.8	51.7	15.3	3.1	2.7	0.4	5.1
平成7年7月調査	3,459	77.1	21.5	55.5	15.6	2.3	2.0	0.3	5.0
平成12年2月調査	3,378	76.6	23.8	52.8	15.8	2.9	2.5	0.4	4.7
平成14年7月調査	3,561	73.2	22.7	50.5	18.4	3.0	2.4	0.6	5.4
平成16年11月調査	3,502	74.7	24.1	50.6	17.2	3.3	2.9	0.3	4.8
平成19年8月調査	3,118	72.3	20.0	52.3	20.2	3.2	2.7	0.5	4.4
平成21年10月調査	3,240	71.9	18.7	53.2	20.6	3.9	3.4	0.5	3.6
平成24年10月調査	3,033	70.4	18.6	51.7	21.4	3.5	2.9	0.6	4.7
平成28年9月調査(うち20歳以上)	2,999	70.7	17.8	52.9	21.5	3.2	2.8	0.4	4.5
平成28年9月調査	3,059	70.4	17.6	52.8	21.8	3.2	2.8	0.4	4.6
令和元年9月調査	2,645	70.1	19.1	51.0	22.6	2.3	2.1	0.2	5.0

- (注1) 平成4年11月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっているとお思いですか。この中ではどうでしょうか。」と聞いている。
- (注2) 平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。
- (注3) 平成14年7月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。」と聞いている。
- (注4) 平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。」と聞いている。
- (注5) 平成21年10月以降の調査では、「あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

キ 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感

問1(7)あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)
 (7)自治会やPTAなどの地域活動の場

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	47.8%
・男性の方が非常に優遇されている	10.2%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	37.6%
・平等	40.2%
・女性の方が優遇されている(小計)	9.9%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.8%
・女性の方が非常に優遇されている	1.1%

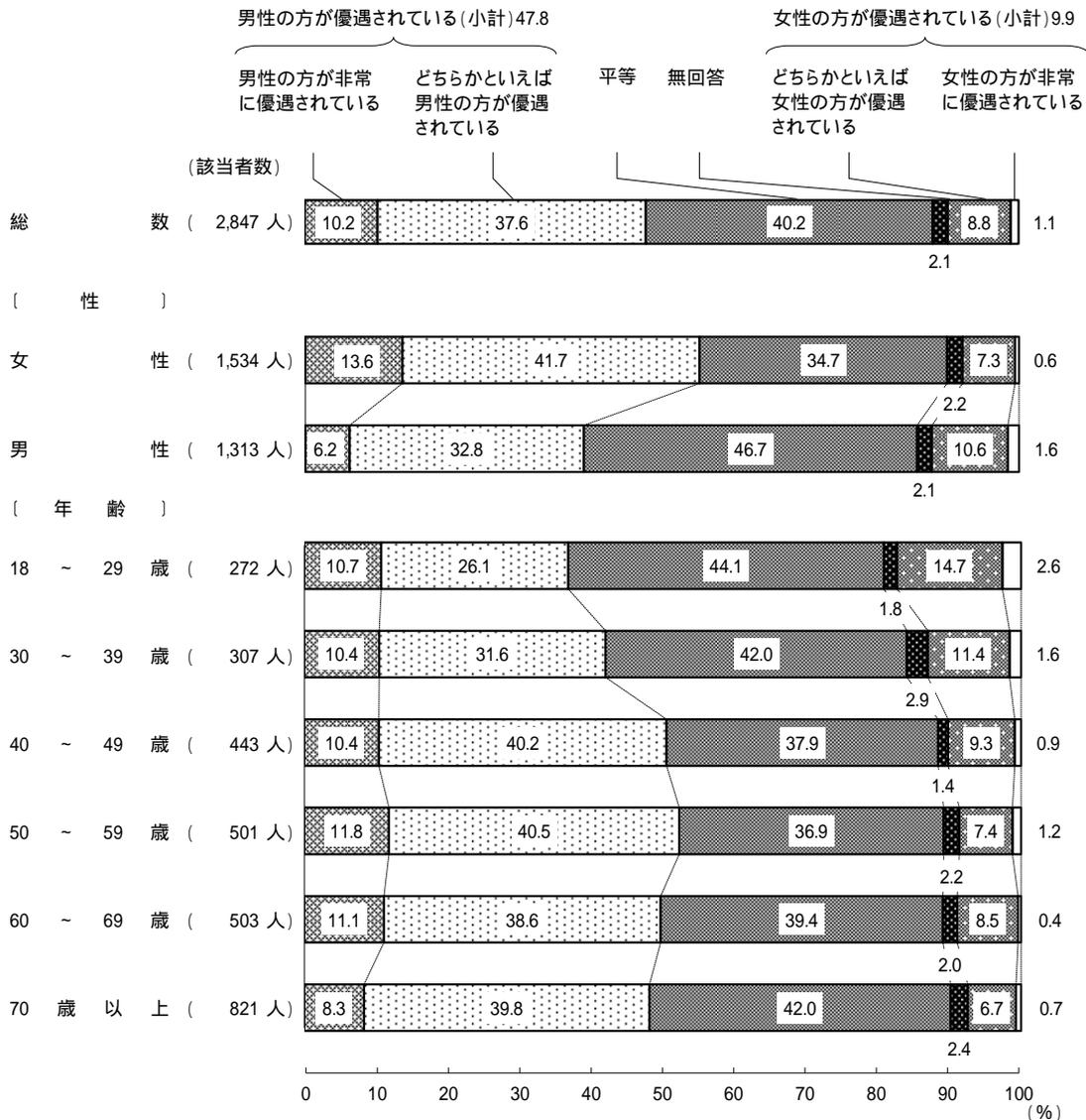


表7 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常 に	男性ど ちらか の方が 優い 遇え ば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど ちらか の方が 優い 遇え ば	優女性 遇性の された 方が 非常 に	無 回 答
			れ て い る (小計)	%	%	%	%	%	%	
総数	2,847		47.8	10.2	37.6	40.2	9.9	8.8	1.1	2.1
〔都市規模〕										
大都市	811		49.3	10.4	39.0	39.2	9.6	8.9	0.7	1.8
東京都区部	186		54.3	15.1	39.2	38.2	7.5	7.0	0.5	-
政令指定都市	625		47.8	9.0	38.9	39.5	10.2	9.4	0.8	2.4
中都市	1,141		45.7	9.7	35.9	41.3	11.0	9.5	1.5	2.1
小都市	641		49.0	11.7	37.3	39.5	8.7	8.0	0.8	2.8
町村	254		49.2	7.9	41.3	40.6	8.7	7.9	0.8	1.6
〔性別〕										
女性	1,534		55.2	13.6	41.7	34.7	7.9	7.3	0.6	2.2
男性	1,313		39.1	6.2	32.8	46.7	12.2	10.6	1.6	2.1
〔年齢〕										
18～29歳	272		36.8	10.7	26.1	44.1	17.3	14.7	2.6	1.8
30～39歳	307		42.0	10.4	31.6	42.0	13.0	11.4	1.6	2.9
40～49歳	443		50.6	10.4	40.2	37.9	10.2	9.3	0.9	1.4
50～59歳	501		52.3	11.8	40.5	36.9	8.6	7.4	1.2	2.2
60～69歳	503		49.7	11.1	38.6	39.4	8.9	8.5	0.4	2.0
70歳以上	821		48.1	8.3	39.8	42.0	7.4	6.7	0.7	2.4

表7 - 参考 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常 に	男性ど ちらか の方が 優い 遇え ば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど ちらか の方が 優い 遇え ば	優女性 遇性の された 方が 非常 に	わ か ら な い
			れ て い る (小計)	%	%	%	%	%	%	
平成21年10月調査	3,240		34.7	6.5	28.2	51.0	7.0	6.4	0.6	7.3
平成24年10月調査	3,033		33.4	6.9	26.5	52.1	7.0	6.1	0.9	7.6
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999		33.7	6.9	26.9	46.9	11.8	10.5	1.3	7.5
平成28年9月調査	3,059		33.5	6.8	26.7	47.2	11.8	10.5	1.3	7.5
令和元年9月調査	2,645		34.7	7.0	27.7	46.5	10.2	8.7	1.6	8.6

(注1) 平成24年10月調査までは、「自治会やNPOなどの地域活動の場については、どうでしょうか。」と聞いている。

(注2) 平成28年9月以降の調査では、「自治会やPTAなどの地域活動の場については、どうでしょうか。」と聞いている。

(注3) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2) 社会全体における男女の地位の平等感

問2 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

令和4年11月

・男性の方が優遇されている(小計)	78.8%
・男性の方が非常に優遇されている	14.0%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	64.7%
・平等	14.7%
・女性の方が優遇されている(小計)	4.8%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	4.2%
・女性の方が非常に優遇されている	0.6%

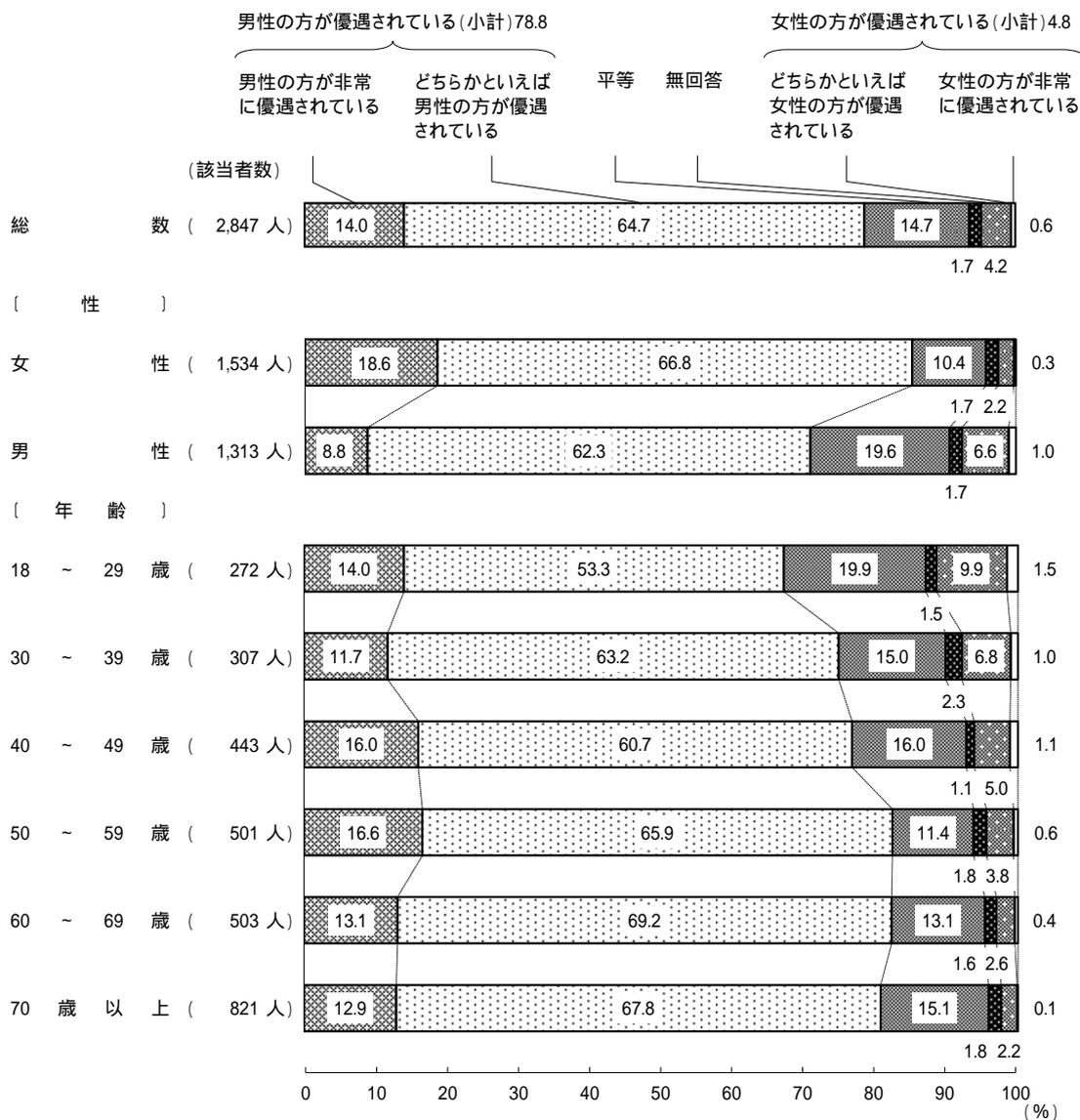


表8 社会全体における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常に	男性ど 性のち らの方 がと 優い 見え れば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど 性のち らの方 がと 優い 見え れば	優女性 遇性の された 方が 非常に	無 回 答
			小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	
			%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847		78.8	14.0	64.7	14.7	4.8	4.2	0.6	1.7
〔都市規模〕										
大都市	811		80.5	14.9	65.6	12.6	5.3	5.1	0.2	1.6
東京都区部	186		84.4	15.6	68.8	11.3	4.3	4.3	-	-
政令指定都市	625		79.4	14.7	64.6	13.0	5.6	5.3	0.3	2.1
中都市	1,141		77.8	13.2	64.6	16.2	4.4	3.5	0.9	1.6
小都市	641		78.8	14.0	64.7	14.2	5.0	4.4	0.6	2.0
町村	254		77.6	15.0	62.6	15.7	5.1	4.3	0.8	1.6
〔性〕										
女性	1,534		85.4	18.6	66.8	10.4	2.5	2.2	0.3	1.7
男性	1,313		71.1	8.8	62.3	19.6	7.6	6.6	1.0	1.7
〔年齢〕										
18～29歳	272		67.3	14.0	53.3	19.9	11.4	9.9	1.5	1.5
30～39歳	307		74.9	11.7	63.2	15.0	7.8	6.8	1.0	2.3
40～49歳	443		76.7	16.0	60.7	16.0	6.1	5.0	1.1	1.1
50～59歳	501		82.4	16.6	65.9	11.4	4.4	3.8	0.6	1.8
60～69歳	503		82.3	13.1	69.2	13.1	3.0	2.6	0.4	1.6
70歳以上	821		80.8	12.9	67.8	15.1	2.3	2.2	0.1	1.8

表8 - 参考 社会全体における男女の地位の平等感

	該 当 者 数	人	男性の方が優遇さ	優男性の 遇性の された 方が 非常に	男性ど 性のち らの方 がと 優い 見え れば	平 等	女性の方が優遇さ	女性ど 性のち らの方 がと 優い 見え れば	優女性 遇性の された 方が 非常に	わ か ら ない
			小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	
			%	%	%	%	%	%	%	%
平成7年7月調査	3,459		75.6	12.3	63.3	19.5	2.6	2.5	0.1	2.3
平成12年2月調査	3,378		76.7	13.1	63.6	17.7	2.8	2.6	0.1	2.8
平成14年7月調査	3,561		75.0	12.9	62.1	19.5	2.8	2.4	0.4	2.6
平成16年11月調査	3,502		73.9	12.7	61.2	20.1	3.8	3.6	0.2	2.2
平成19年8月調査	3,118		73.2	11.4	61.8	20.9	4.2	3.8	0.4	1.7
平成21年10月調査	3,240		71.5	9.7	61.9	23.2	3.6	3.4	0.3	1.6
平成24年10月調査	3,033		69.8	10.8	59.1	24.6	3.8	3.4	0.4	1.8
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999		74.3	9.8	64.4	21.0	3.0	2.8	0.2	1.7
平成28年9月調査	3,059		74.2	9.7	64.5	21.1	3.0	2.8	0.2	1.7
令和元年9月調査	2,645		74.1	11.3	62.8	21.2	3.1	2.8	0.3	1.6

(注1) 平成7年7月調査、平成12年2月調査、平成21年10月以降の調査では、「あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成14年7月調査、平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。この中から1つお答えください。」と聞いている。

(注3) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(3) 女性が職業をもつことに対する意識

問3 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・ 女性は職業をもたない方がよい 0.7%
- ・ 結婚するまでは職業をもつ方がよい 2.6%
- ・ こどもができるまでは、職業をもつ方がよい 7.7%
- ・ こどもができて、ずっと職業を続ける方がよい 59.5%
- ・ こどもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 27.1%

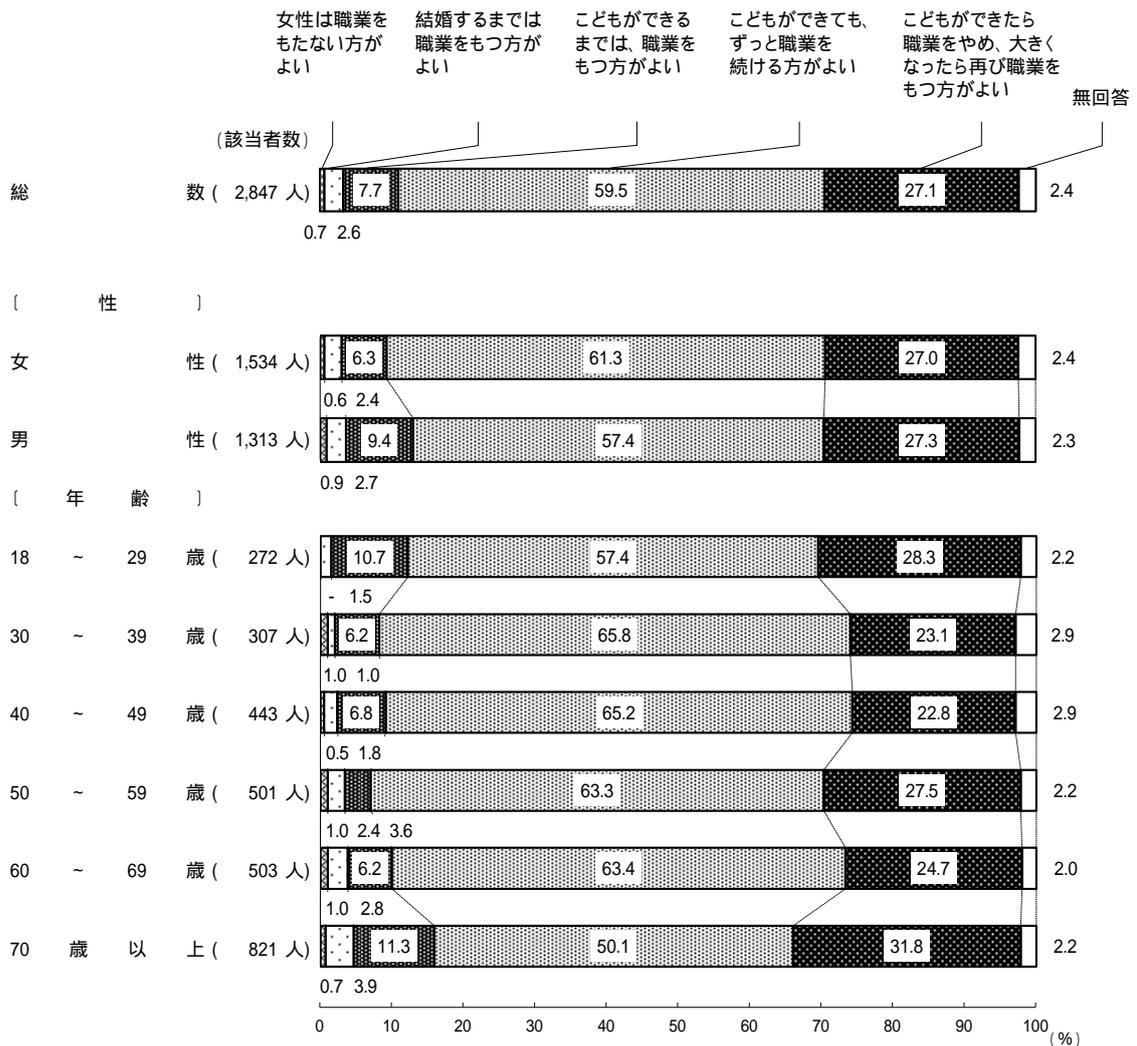


表9 女性が職業をもつことに対する意識

	該 当 者 数	い 女 性 が よ い 職 業 を も た な	を 結 婚 す る ま で は 職 業	よ い は こ ど も が 職 業 を も つ 方 ま が	方 が よ い こ ど も が 職 業 を 続 け る	も な つ た ら 再 び 大 き く 職 業	こ ど も が で き た ら 職	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	2,847	0.7	2.6	7.7	59.5	27.1	2.4	
大 都 市	811	0.9	3.0	8.3	58.7	27.0	2.2	
東 京 都 区 部	186	0.5	3.2	5.9	64.5	24.2	1.6	
政 令 指 定 都 市	625	1.0	2.9	9.0	57.0	27.8	2.4	
中 都 市	1,141	0.7	2.7	7.9	57.9	28.0	2.7	
小 都 市	641	0.3	2.2	5.9	62.2	27.0	2.3	
町 村	254	1.6	1.6	9.8	62.2	23.6	1.2	
〔性〕								
女 性	1,534	0.6	2.4	6.3	61.3	27.0	2.4	
男 性	1,313	0.9	2.7	9.4	57.4	27.3	2.3	
〔年齢〕								
18 ~ 29 歳	272	-	1.5	10.7	57.4	28.3	2.2	
30 ~ 39 歳	307	1.0	1.0	6.2	65.8	23.1	2.9	
40 ~ 49 歳	443	0.5	1.8	6.8	65.2	22.8	2.9	
50 ~ 59 歳	501	1.0	2.4	3.6	63.3	27.5	2.2	
60 ~ 69 歳	503	1.0	2.8	6.2	63.4	24.7	2.0	
70 歳 以上	821	0.7	3.9	11.3	50.1	31.8	2.2	

表9 - 参考 女性が職業をもつことに対する意識

	該 当 者 数	い 女 性 が よ い 職 業 を も た な	を 結 婚 す る ま で は 職 業	よ い は こ ど も が 職 業 を も つ 方 ま が	方 が よ い こ ど も が 職 業 を 続 け る	も な つ た ら 再 び 大 き く 職 業	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成4年11月調査	3,524	4.1	12.5	12.9	23.4	42.7	1.5	2.9
平成7年7月調査	3,459	4.3	9.0	11.7	30.2	38.7	2.8	3.4
平成12年2月調査	3,378	4.1	7.8	10.4	33.1	37.6	2.7	4.3
平成14年7月調査	3,561	4.4	6.2	9.9	37.6	36.6	1.1	4.2
平成16年11月調査	3,502	2.7	6.7	10.2	40.4	34.9	2.3	2.8
平成19年8月調査	3,118	3.6	5.5	10.7	43.4	33.0	1.4	2.3
平成21年10月調査	3,240	3.5	5.5	10.7	45.9	31.3	1.4	1.8
平成24年10月調査	3,033	3.4	5.6	10.0	47.5	30.8	1.4	1.3
平成26年8月調査	3,037	2.2	5.8	11.7	44.8	31.5	2.0	1.9
平成28年9月調査 (うち20歳以上)	2,999	3.3	4.6	8.3	54.4	26.2	1.5	1.6
平成28年9月調査	3,059	3.3	4.7	8.4	54.2	26.3	1.5	1.6
令和元年9月調査	2,645	3.9	4.8	6.5	61.0	20.3	1.7	1.7

(注1) 平成4年11月調査、平成7年7月調査、平成12年2月調査では、「一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。この中から1つだけあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成14年7月調査、平成16年11月調査、平成19年8月調査では、「一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。この中から1つお答えください。」と聞いている。

(注3) 平成21年10月以降の調査では、「一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注4) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

2 家庭生活等に関する意識について

(1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識

問4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

令和4年11月

・賛成(小計)	33.5%
・賛成	4.0%
・どちらかといえば賛成	29.4%
・反対(小計)	64.3%
・どちらかといえば反対	38.2%
・反対	26.1%

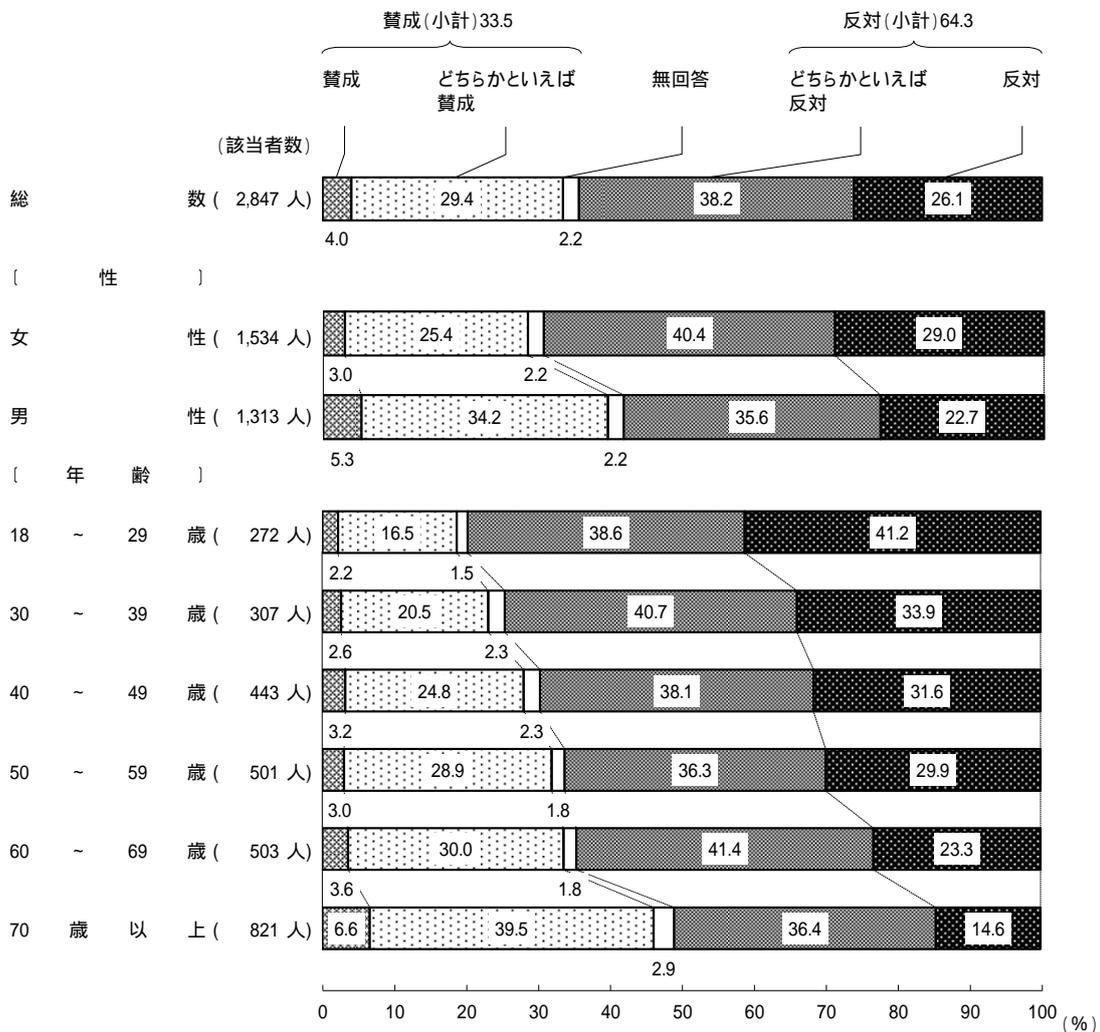


表 10 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識

	該 当 者 数	賛			反			無 回 答
		(小計) 成	賛 成	賛 ど ち ら か と い え ば	(小計) 対	反 ど ち ら か と い え ば	反 対	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	2,847	33.5	4.0	29.4	64.3	38.2	26.1	2.2
大 東 京 都 区 部	811	33.9	4.4	29.5	64.2	37.6	26.6	1.8
政 令 指 定 都 市	186	30.1	3.2	26.9	69.4	36.6	32.8	0.5
中 都 都 市	625	35.0	4.8	30.2	62.7	37.9	24.8	2.2
小 都 都 市	1,141	33.0	4.2	28.7	64.7	37.5	27.2	2.4
町 村	641	32.4	3.0	29.5	64.7	39.9	24.8	2.8
〔性〕	254	37.0	4.7	32.3	61.8	39.0	22.8	1.2
女 性	1,534	28.4	3.0	25.4	69.4	40.4	29.0	2.2
男 性	1,313	39.5	5.3	34.2	58.3	35.6	22.7	2.2
〔年齢〕								
18 ～ 29 歳	272	18.8	2.2	16.5	79.8	38.6	41.2	1.5
30 ～ 39 歳	307	23.1	2.6	20.5	74.6	40.7	33.9	2.3
40 ～ 49 歳	443	28.0	3.2	24.8	69.8	38.1	31.6	2.3
50 ～ 59 歳	501	31.9	3.0	28.9	66.3	36.3	29.9	1.8
60 ～ 69 歳	503	33.6	3.6	30.0	64.6	41.4	23.3	1.8
70 歳 以 上	821	46.0	6.6	39.5	51.0	36.4	14.6	2.9

表 10 - 参考 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識

	該 当 者 数	賛			反			わ か ら な い
		(小計) 成	賛 成	賛 ど ち ら か と い え ば	(小計) 対	反 ど ち ら か と い え ば	反 対	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 4 年 11 月 調 査	3,524	60.1	23.0	37.1	34.0	24.0	10.0	5.9
平成 9 年 9 月 調 査	3,574	57.8	20.6	37.2	37.8	24.0	13.8	4.4
平成 14 年 7 月 調 査	3,561	47.0	14.8	32.1	47.0	27.0	20.0	6.1
平成 16 年 11 月 調 査	3,502	45.2	12.7	32.5	48.9	27.4	21.5	5.9
平成 19 年 8 月 調 査	3,118	44.8	13.8	31.0	52.1	28.7	23.4	3.2
平成 21 年 10 月 調 査	3,240	41.3	10.6	30.7	55.1	31.3	23.8	3.6
平成 24 年 10 月 調 査	3,033	51.6	12.9	38.7	45.1	27.9	17.2	3.3
平成 26 年 8 月 調 査	3,037	44.6	12.5	32.1	49.4	33.3	16.1	6.0
平成 28 年 9 月 調 査 (うち 20 歳以上)	2,999	40.7	8.9	31.8	54.2	34.7	19.4	5.1
平成 28 年 9 月 調 査	3,059	40.6	8.8	31.7	54.3	34.8	19.5	5.1
令和元年 9 月 調 査	2,645	35.0	7.5	27.5	59.8	36.6	23.2	5.2

(注 1) 平成 4 年 11 月調査、平成 9 年 9 月調査では、「次にあげるような考え方について、あなたの御意見に最も近いものはどれでしょうか。この中から 1 つだけあげてください。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてはどうでしょうか。」と聞いている。

(注 2) 平成 14 年 7 月調査では、「結婚、家庭、離婚について、あなたの御意見をお伺いします。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と聞いている。

(注 3) 平成 16 年 11 月調査では、「結婚、家庭、離婚について、あなたの御意見をお伺いします。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについては、どうでしょうか。」と聞いている。

(注 4) 平成 19 年 8 月調査では、「結婚、家庭等について、あなたの御意見をお伺いします。この中から 1 つお答えください。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについては、どうでしょうか。」と聞いている。

(注 5) 平成 21 年 10 月調査では、「結婚、家庭等について、あなたの御意見をお伺いします。この中から 1 つだけお答えください。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについては、どうでしょうか。」と聞いている。

(注 6) 平成 24 年 10 月調査では、「家庭生活について、あなたの御意見をお伺いします。この中から 1 つだけお答えください。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と聞いている。

(注 7) 平成 26 年 8 月以降の調査では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どうお考えですか。」と聞いている。

(注 8) 令和元年 9 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年 11 月調査との単純比較は行わない。

ア 賛成とする理由

(問4で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に)
 問5 賛成と思うのはなぜですか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)
 令和4年11月

- ・妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから 59.0%
- ・育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 56.0%
- ・夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 32.1%

〔「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
 「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答〕

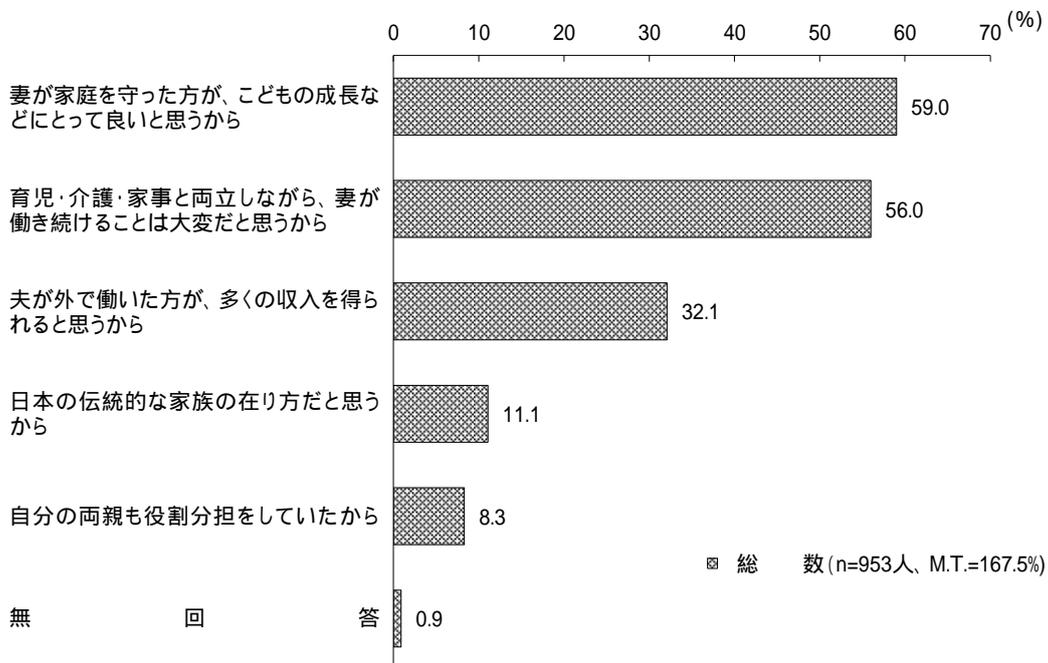


表 11 賛成とする理由

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	妻が家庭を守つた方が、良いこと の成などに	家事・育児・介護・家事と両立しな がら、妻が働き続けることは 大変だと思つから	夫が外で働いた方が、多くの 収入を得られると思つから	日本の伝統的な家族の在り方 だと思つから	自分の両親も役割分担をして いたから	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	953	59.0	56.0	32.1	11.1	8.3	0.9	167.5
〔都市規模〕								
大都市	275	61.1	54.9	32.0	13.8	10.2	1.5	173.5
東京都区部	56	57.1	55.4	33.9	19.6	10.7	1.8	178.6
政令指定都市	219	62.1	54.8	31.5	12.3	10.0	1.4	172.1
中都市	376	58.0	58.2	31.1	9.6	7.2	0.5	164.6
小都市	208	58.2	56.3	35.6	8.7	5.8	1.0	165.4
町	94	58.5	50.0	28.7	14.9	12.8	1.1	166.0
〔性〕								
女性	435	53.8	60.7	34.7	10.1	7.1	1.6	168.0
男性	518	63.3	52.1	29.9	12.0	9.3	0.4	167.0
〔年齢〕								
18～29歳	51	39.2	64.7	35.3	7.8	17.6	-	164.7
30～39歳	71	52.1	74.6	38.0	7.0	7.0	-	178.9
40～49歳	124	62.1	58.9	32.3	4.8	11.3	-	169.4
50～59歳	160	63.1	55.0	33.1	11.3	5.0	0.6	168.1
60～69歳	169	55.6	58.6	34.9	10.7	7.7	0.6	168.0
70歳以上	378	61.6	49.7	28.8	14.6	7.9	1.9	164.6

表 11 - 参考 賛成とする理由

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	妻が家庭を守つた方が、良いこと の成などに	家事・育児・介護・家事と両立しな がら、妻が働き続けることは 大変だと思つから	夫が外で働いた方が、多くの 収入を得られると思つから	日本の伝統的な家族の在り方 だと思つから	自分の両親も役割分担をして いたから	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 26 年 8 月 調査	1,356	59.4	37.3	27.0	19.5	17.0	0.3	1.5	-	162.1
平成 28 年 9 月 調査 (うち 20 歳以上)	1,221	60.7	45.6	33.0	20.9	18.9	0.8	1.0	0.1	181.0
平成 28 年 9 月 調査	1,241	60.4	45.6	32.9	20.8	19.0	0.8	1.0	0.1	180.5
令和 元年 9 月 調査	926	55.2	44.7	32.3	19.2	17.1	0.4	1.1	0.3	170.3

(注 1) 「それはなぜですか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

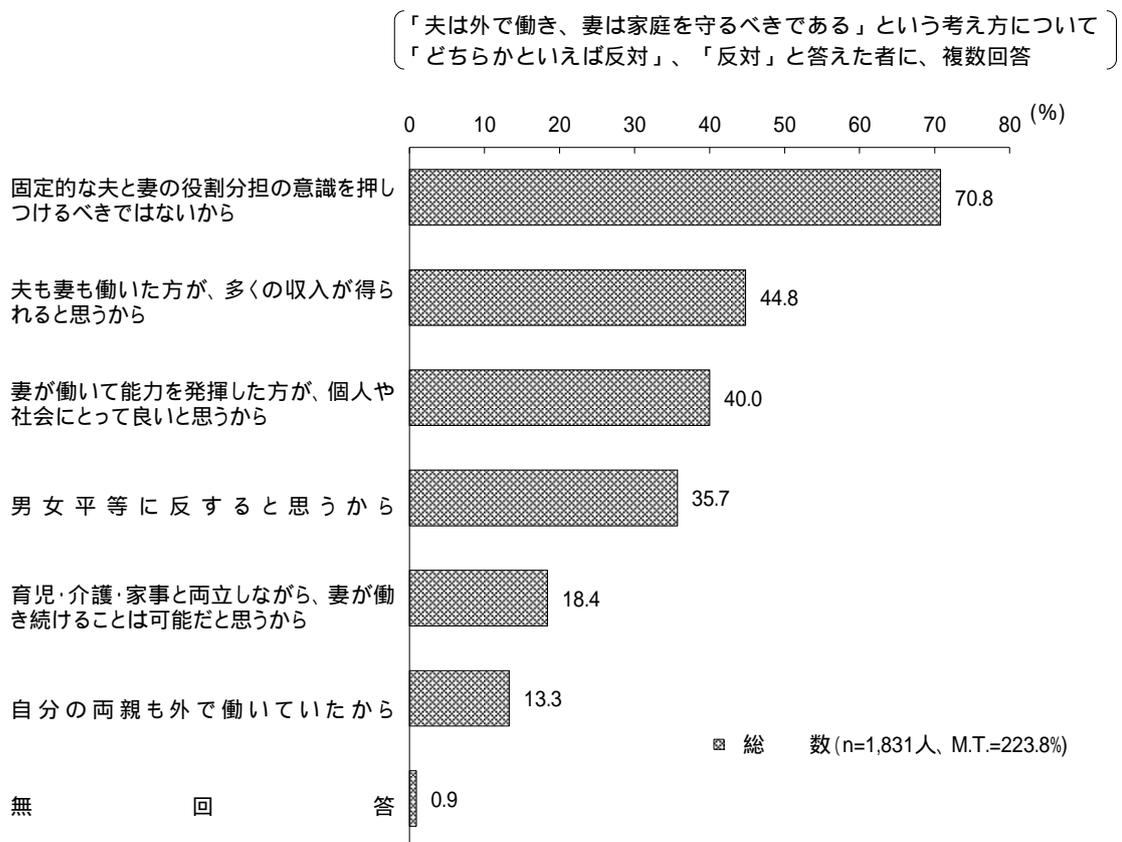
(注 2) 令和元年 9 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年 11 月調査との単純比較は行わない。

イ 反対とする理由

(問4で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者に)
 問6 反対と思うのはなぜですか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
 令和4年11月

- ・ 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから 70.8%
- ・ 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから 44.8%
- ・ 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから 40.0%
- ・ 男女平等に反すると思うから 35.7%



(2) 男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

問7 あなたは、今後、男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(はいいくつでも)

(上位6項目)

令和4年11月

- ・ 男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること 66.7%
- ・ 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 61.8%
- ・ 男性が育児・家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 60.7%
- ・ 労働時間の短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 46.8%
- ・ 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること 44.5%
- ・ 社会の中で、男性による育児・家事などについても、その評価を高めること 44.5%

(複数回答)

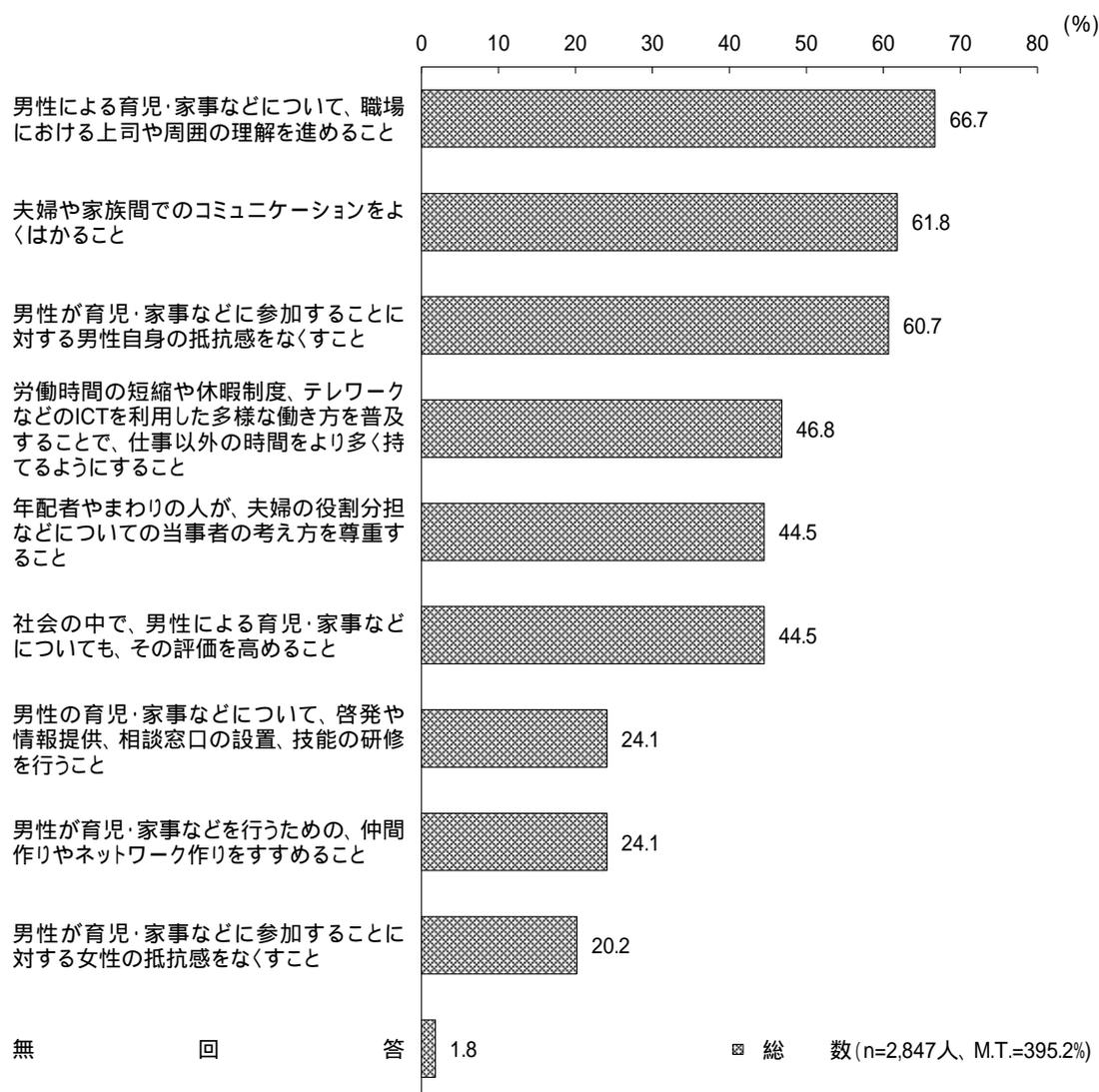


表 13 男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

(複数回答)

	該 当 者 数	男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	男性が育児・家事などに自身で参加することを拒否すること	多様な働き方（在宅勤務やフレックスタイム制など）の普及を促すこと	労働時間の短縮や休暇制度、育児休業などの活用を促すこと	役割分担やまわりの人が、夫の働き方を尊重すること
	人	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	66.7	61.8	60.7	46.8	44.5	
大都市圏	811	67.1	60.7	61.2	54.7	45.1	
大都市圏	186	65.6	57.0	61.3	58.6	50.5	
政令指定都市	625	67.5	61.8	61.1	53.6	43.5	
中核市	1,141	68.8	62.3	58.6	46.8	45.5	
小都市	641	64.4	63.7	62.6	39.0	42.9	
町	254	62.2	58.7	63.8	40.6	41.7	
女性	1,534	72.3	65.1	66.7	48.3	52.5	
男性	1,313	60.2	58.0	53.7	44.9	35.1	
18歳以下	272	73.9	64.7	58.5	57.0	46.3	
19歳	307	72.3	66.1	62.2	58.3	49.5	
20歳	443	71.8	59.6	58.9	52.4	49.2	
21歳	501	71.7	58.3	61.1	46.5	45.9	
22歳	503	64.4	62.4	60.4	45.7	39.8	
23歳以上	821	58.0	62.2	61.8	36.8	41.4	

表 13 男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	社会の中で、男性による育児・家事の価値を高めること	男性の育児・家事などについての啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性が育児・家事などをネットワーク作りをすすめること	男性が育児・家事などに参加することを促すこと	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	44.5	24.1	24.1	20.2	1.8	395.2
大都市圏	811	45.6	23.8	23.8	20.2	1.7	403.9
大都市圏	186	45.2	24.7	29.6	25.8	1.1	419.4
政令指定都市	625	45.8	23.5	22.1	18.6	1.9	399.4
中核市	1,141	44.0	23.6	25.6	20.9	1.8	397.8
小都市	641	44.6	26.1	23.2	19.8	2.3	388.6
町	254	42.5	22.4	20.5	18.5	1.2	372.0
女性	1,534	44.5	25.3	26.5	22.8	1.8	425.7
男性	1,313	44.4	22.7	21.2	17.2	1.9	359.5
18歳以下	272	40.8	26.1	33.1	21.3	1.5	423.2
19歳	307	47.9	19.5	27.4	25.1	2.3	430.6
20歳	443	50.3	25.5	24.6	19.9	1.4	413.5
21歳	501	49.3	23.6	21.6	21.4	2.2	401.4
22歳	503	44.5	24.5	22.3	18.7	2.0	384.7
23歳以上	821	38.2	24.5	22.3	18.5	1.7	365.4

表 13 - 参考 男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

(複数回答)

	該 当 者 数	夫 婦 や 家 族 間 で の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を よ く は か る こ と	男 性 に よ る 家 事 ・ 育 児 な ど に 関 連 し た 職 場 に お け る 上 司 や 周 圍 の 理 解 を 進 め る こ と	男 性 が 家 事 ・ 育 児 な ど に 参 加 す る こ と に 対 す る 男 性 自 身 の 抵 抗 感 を な く す こ と	社 会 の 中 で 、 男 性 に よ る 家 事 ・ 育 児 な ど に 関 連 し た 事 業 の 評 価 を 高 め る こ と	年 配 者 や ま わ り の 人 が 、 夫 婦 の 役 割 分 担 な ど に 関 連 し た 考 え 方 を 尊 重 す る こ と	レ ジ ュ ア ン ス の 時 間 短 縮 や 休 暇 制 度 の 利 用 を 促 す こ と 、 多 く の 種 類 の 工 作 を 普 通 に 行 う こ と 、 以 外 の 時 間 を 有 効 に 利 用 す る こ と
	人	%	%	%	%	%	%
平成 28 年 9 月 調 査	3,059	59.4	57.0	57.0	47.9	40.0	30.8
令和元年 9 月 調 査	2,645	59.1	58.5	56.0	46.9	40.5	33.8

表 13 - 参考 男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	男 性 が 家 事 ・ 育 児 な ど に 参 加 す る こ と に 対 す る 男 性 自 身 の 抵 抗 感 を な く す こ と	男 性 が 家 事 ・ 育 児 な ど に 関 連 し た 仲 間 ・ ネ ッ ト ワ ー ク の 利 用 を 促 す こ と	男 性 の 啓 蒙 や 情 報 の 提 供 、 こ の 設 置 、 技 能 研 修 を 行 う こ と	そ の 他	特 に 必 要 な こ と は な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%
平成 28 年 9 月 調 査	3,059	30.9	25.7	23.8	0.9	4.4	377.9
令和元年 9 月 調 査	2,645	30.5	27.9	25.3	0.9	4.3	383.7

(注 1) 「今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注 2) 令和元年 9 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年 11 月調査との単純比較は行わない。

(3) 育児等に対する配偶者との役割分担

ア 育児に対する配偶者との役割分担

問8(1) あなたは、次の育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

なお、育児、介護などを行っている、していないに関わらず、お答えください。また、配偶者がいる、いないに関わらず、お答えください。(○は1つ)

(1) 育児

令和4年11月

- ・ 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担 11.8%
- ・ 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担 5.9%
- ・ 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担 4.8%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担 57.6%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担 11.0%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担 5.5%

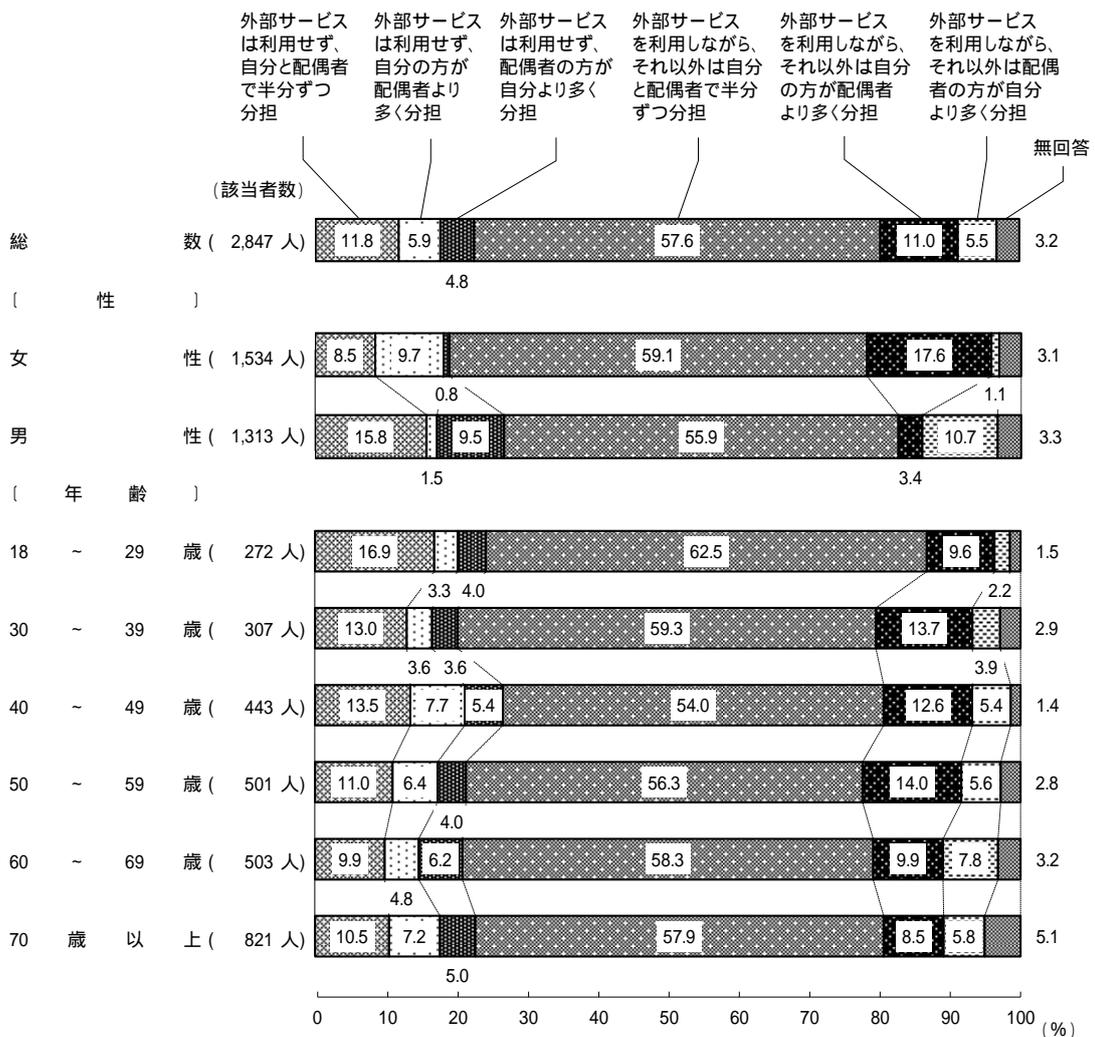


表 14 育児に対する配偶者との役割分担

	該 当 者 数	でせ外部 半分ず、サ ず分と、自 ず分と分 担と配 用者	偶せ外部 者ず、サ より、自 多く分の 分は 担は 配用	自せ外部 分ず、サ より、配 多く偶 分者 担は が用	分はし外 ず自な部 分分がサ ととら、 分配ビ 担偶そ 者れ を で以 半外 用	よりはし外 多自な部 く分のサ 分の方 担が 配そ 者れ を 偶以 者外 用	よりはし外 多自な部 く分のサ 分の方 担が 配そ 者れ を 偶以 者外 用	よりはし外 多自な部 く分のサ 分の方 担が 配そ 者れ を 偶以 者外 用	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	11.8	5.9	4.8	57.6	11.0	5.5	3.2	
〔都市規模〕									
大都市	811	11.8	6.2	4.9	55.0	12.2	6.7	3.2	
東京都区部	186	14.5	4.8	3.2	54.8	12.4	7.5	2.7	
政令指定都市	625	11.0	6.6	5.4	55.0	12.2	6.4	3.4	
中都市	1,141	11.7	6.5	5.2	59.3	9.8	4.6	2.8	
小都市	641	11.7	4.4	4.5	58.2	11.4	5.9	3.9	
町	254	12.6	6.7	3.9	57.1	11.8	4.7	3.1	
〔性〕									
女性	1,534	8.5	9.7	0.8	59.1	17.6	1.1	3.1	
男性	1,313	15.8	1.5	9.5	55.9	3.4	10.7	3.3	
〔年齢〕									
18～29歳	272	16.9	3.3	4.0	62.5	9.6	2.2	1.5	
30～39歳	307	13.0	3.6	3.6	59.3	13.7	3.9	2.9	
40～49歳	443	13.5	7.7	5.4	54.0	12.6	5.4	1.4	
50～59歳	501	11.0	6.4	4.0	56.3	14.0	5.6	2.8	
60～69歳	503	9.9	4.8	6.2	58.3	9.9	7.8	3.2	
70歳以上	821	10.5	7.2	5.0	57.9	8.5	5.8	5.1	

表 14 - 参考 育児に対する配偶者との役割分担

	該 当 者 数	自 分 と 配 偶 者 で 半 分 サ ー ビ ス は 利 用 し な い	自 分 の 方 が 配 偶 者 を 利 用 し な い	配 偶 者 の 方 が 自 分 を 利 用 し な い	自 分 と 配 偶 者 を 半 外 用 で 利 用	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年9月調査	2,645	31.4	15.8	10.6	25.2	5.3	3.0	1.8	6.9	

(注1) 「あなたは、育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。あなたが育児、介護などを行っている、していないに関わらず、保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。なお、配偶者のいない方も、配偶者がいることを想定してお答えください。」と聞いている。

(注2) 令和元年9月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

イ 介護に対する配偶者との役割分担

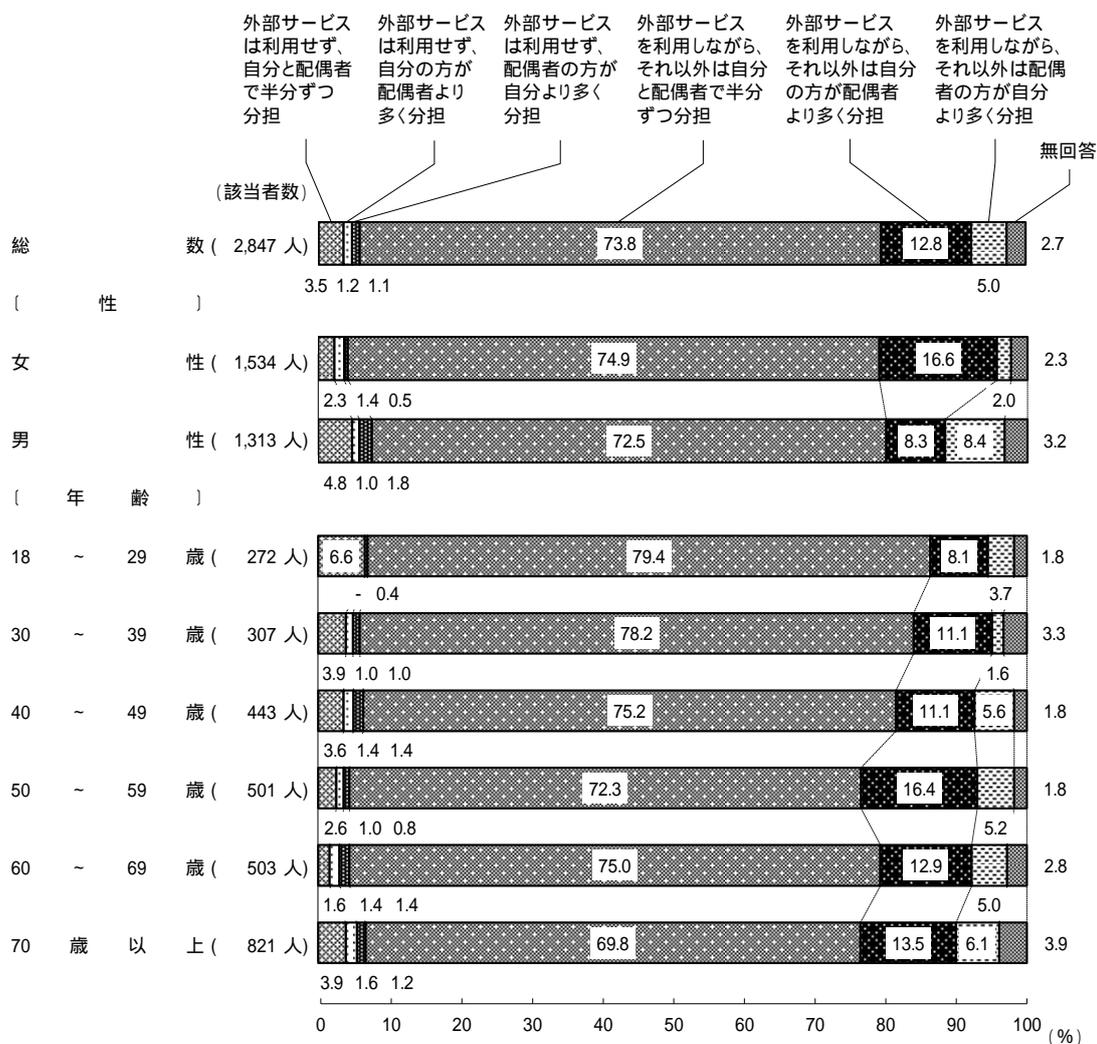
問 8 (2) あなたは、次の育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

なお、育児、介護などを行っている、していないに関わらず、お答えください。また、配偶者がいる、いないに関わらず、お答えください。(○は1つ)

(2) 介護

令和 4 年 11 月

- ・ 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担 3.5%
- ・ 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担 1.2%
- ・ 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担 1.1%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担 73.8%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担 12.8%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担 5.0%



ウ 育児・介護以外の家事に対する配偶者との役割分担

問 8 (3) あなたは、次の育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

なお、育児、介護などを行っている、していないに関わらず、お答えください。また、配偶者がいる、いないに関わらず、お答えください。(○は1つ)

(3) 育児・介護以外の家事

令和 4 年 11 月

- ・ 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担 33.4%
- ・ 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担 10.0%
- ・ 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担 6.2%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担 39.1%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担 6.0%
- ・ 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担 2.7%

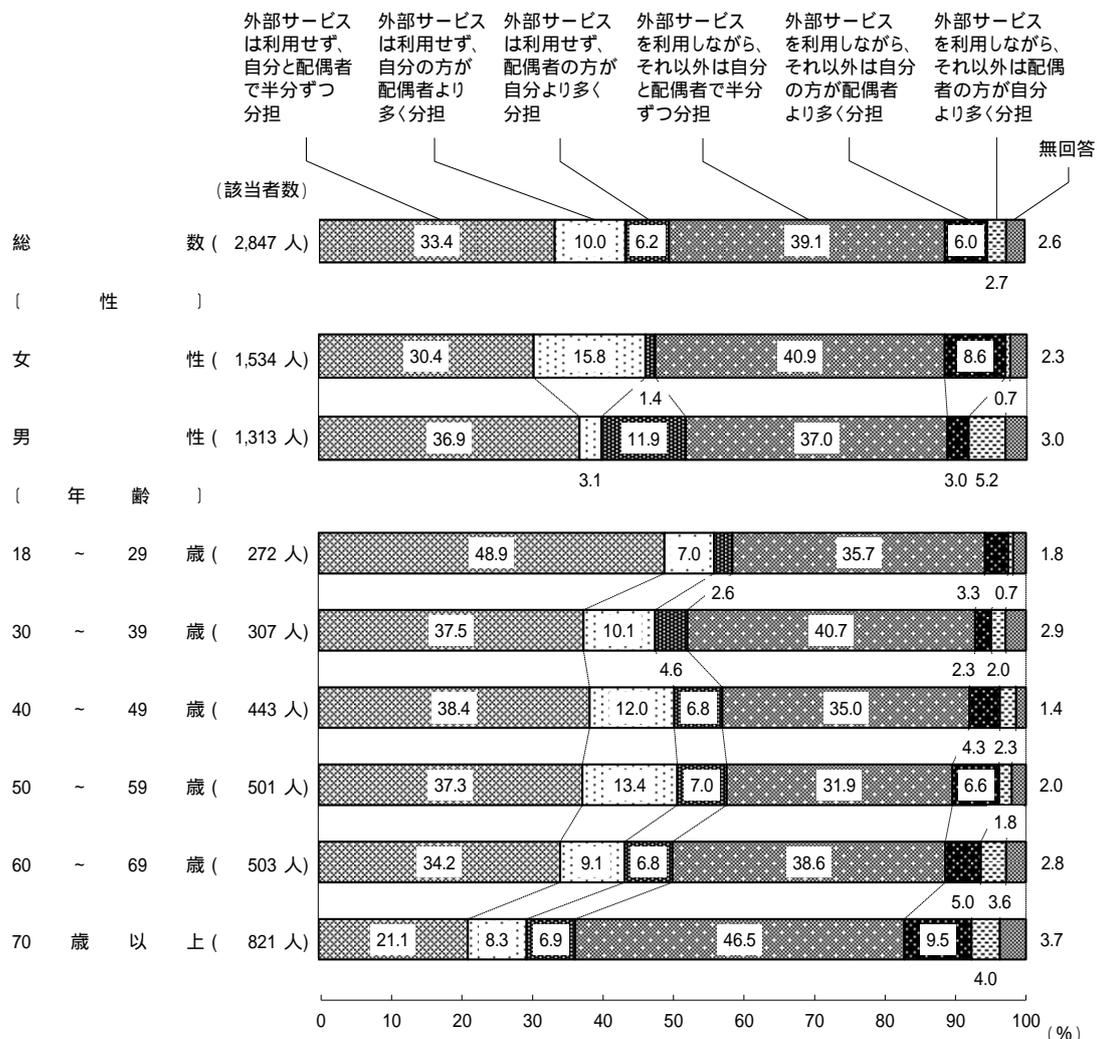


表 16 育児・介護以外の家事に対する配偶者との役割分担

	該 当 者 数	でせ外部 半分ず、サ ず分と、自 ず分と分 担と配 用者	偶せ外部 者ず、サ より、自 多く分の 分は 担は 配用	自せ外部 分ず、サ より、配 多く偶 分者 担は が用	分はし外 ず自な部 分がサ と分ら、 担配、ピ 偶そ 者れ を で以 半外 用	よりはし外 多自な部 く分がサ 分のら、 担配、ピ 偶そ 者れ を 以 用	よりはし外 多配な部 く偶者、 分のサ 担の方 が、 配そ 以れ 用	はし外 な部 配者、 偶の が、 自 分 を 以 用	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	33.4	10.0	6.2	39.1	6.0	2.7	2.6	
〔都市規模〕									
大都市	811	37.1	9.9	5.9	34.8	6.5	3.1	2.7	
東京都	186	36.6	9.7	6.5	34.9	6.5	3.2	2.7	
政令指定都市	625	37.3	9.9	5.8	34.7	6.6	3.0	2.7	
中都市	1,141	33.0	9.3	6.5	40.6	6.0	2.1	2.5	
小都市	641	30.4	10.0	5.9	42.1	5.6	3.0	3.0	
町	254	30.3	13.4	6.7	38.6	5.5	3.9	1.6	
〔性〕									
女性	1,534	30.4	15.8	1.4	40.9	8.6	0.7	2.3	
男性	1,313	36.9	3.1	11.9	37.0	3.0	5.2	3.0	
〔年齢〕									
18～29歳	272	48.9	7.0	2.6	35.7	3.3	0.7	1.8	
30～39歳	307	37.5	10.1	4.6	40.7	2.3	2.0	2.9	
40～49歳	443	38.4	12.0	6.8	35.0	4.3	2.3	1.4	
50～59歳	501	37.3	13.4	7.0	31.9	6.6	1.8	2.0	
60～69歳	503	34.2	9.1	6.8	38.6	5.0	3.6	2.8	
70歳以上	821	21.1	8.3	6.9	46.5	9.5	4.0	3.7	

表 16 - 参考 育児・介護以外の家事に対する配偶者との役割分担

	該 当 者 数	自 分 と 配 偶 者 で 半 分 を 担 い ま す か （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	自 分 の 方 が 配 偶 者 と 共 に 担 い ま す か （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	配 偶 者 の 方 が 自 分 と 共 に 担 い ま す か （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	自 分 と 配 偶 者 の 両 方 が 担 い ま す か （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い が 配 偶 者 が 利 用 し な い （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い が 配 偶 者 が 利 用 し な い （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	自 分 が サ ー ビ ス を 利 用 し な い が 配 偶 者 が 利 用 し な い （ サ ー ビ ス は 利 用 し な い ）	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年9月調査	2,645	39.7	15.6	10.7	18.6	5.0	2.7	1.7	6.0	

(注1) 「あなたは、育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。あなたが育児、介護などを行っている、していないに関わらず、保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。なお、配偶者のいない方も、配偶者がいることを想定してお答えください。」と聞いている。

(注2) 令和元年9月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(4) 育児などに女性が費やす時間と職業面での女性活躍との関係に対する意識

【資料1】

総務省の「令和3年社会生活基本調査」によると、夫婦共働き世帯において、1日の中で、育児や介護、家事などに費やす時間を男女別に比較すると、男性は53分、女性は4時間18分となっています。同様に、仕事に費やす時間を男女別に比較すると、男性は6時間54分、女性は4時間16分となっています。育児や介護、家事などに費やす時間は女性の方が長く、仕事に費やす時間は男性の方が長い現状となっています。

(上記資料1を提示して)

問9 育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、職業生活における女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。(は1つ)

令和4年11月

・そう思う(小計)	84.0%
・そう思う	38.0%
・どちらかといえばそう思う	46.0%
・そうは思わない(小計)	14.6%
・どちらかといえばそうは思わない	10.2%
・そうは思わない	4.5%

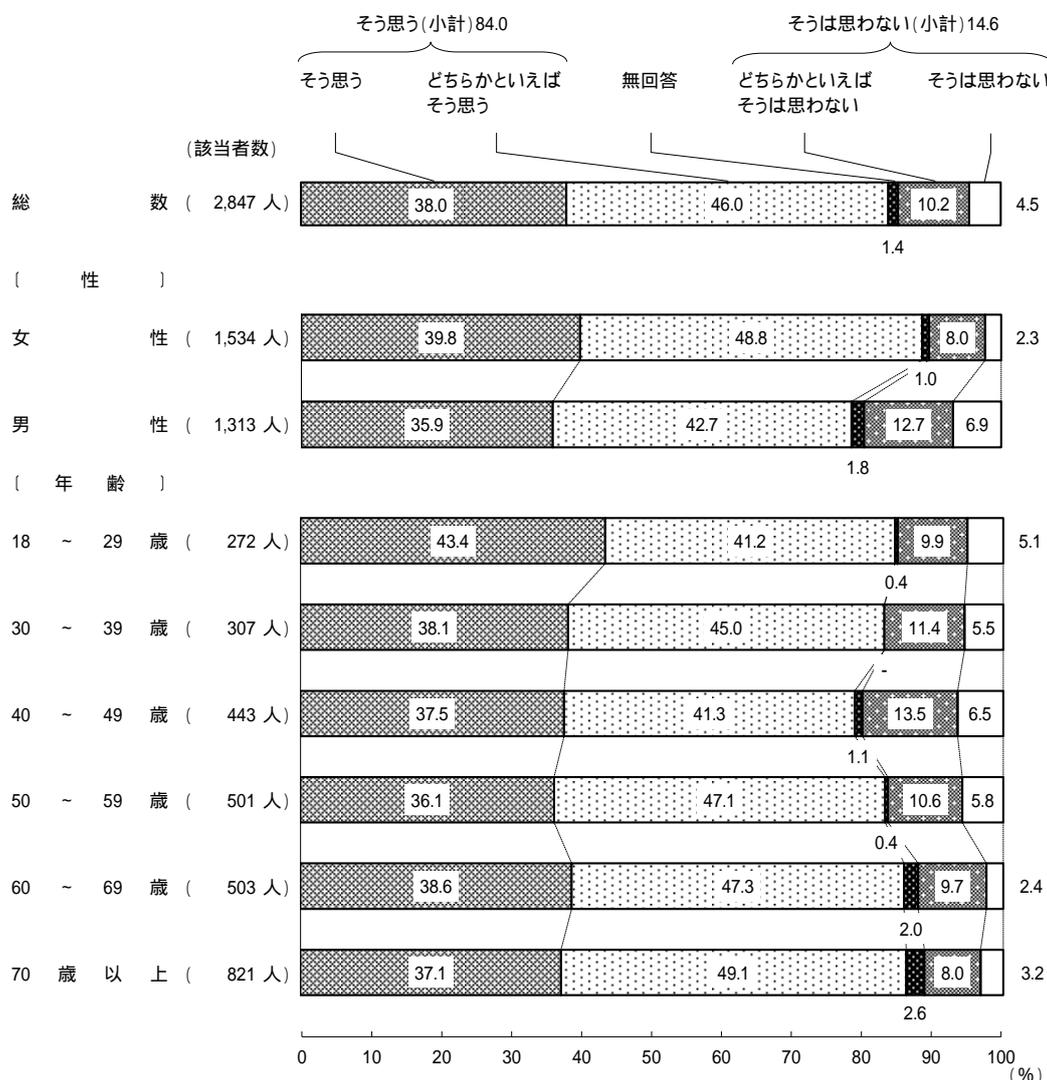


表 17 育児などに女性が費やす時間と職業面での女性活躍との関係に対する意識

	該 当 者 数	そ う 思 う			そ う は 思 わ な い			無 回 答
		(小 計)	そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	(小 計)	そ ど ち ら か と い え ば	そ う は 思 わ な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市	2,847	84.0	38.0	46.0	14.6	10.2	4.5	1.4
東 京 都 区 部	811	84.0	38.5	45.5	14.2	9.1	5.1	1.8
政 令 指 定 都 市	186	82.3	37.1	45.2	15.6	9.7	5.9	2.2
中 都 市	625	84.5	38.9	45.6	13.8	9.0	4.8	1.8
小 都 市	1,141	83.3	38.4	45.0	15.5	11.4	4.1	1.1
町 村	641	84.7	35.4	49.3	14.2	10.3	3.9	1.1
〔性〕	254	85.0	40.9	44.1	13.4	7.9	5.5	1.6
女 性	1,534	88.6	39.8	48.8	10.4	8.0	2.3	1.0
男 性	1,313	78.6	35.9	42.7	19.6	12.7	6.9	1.8
〔年 齢〕								
18 ~ 29 歳	272	84.6	43.4	41.2	15.1	9.9	5.1	0.4
30 ~ 39 歳	307	83.1	38.1	45.0	16.9	11.4	5.5	-
40 ~ 49 歳	443	78.8	37.5	41.3	20.1	13.5	6.5	1.1
50 ~ 59 歳	501	83.2	36.1	47.1	16.4	10.6	5.8	0.4
60 ~ 69 歳	503	85.9	38.6	47.3	12.1	9.7	2.4	2.0
70 歳 以 上	821	86.2	37.1	49.1	11.2	8.0	3.2	2.6

ア 育児などに費やす時間の男女差を踏まえ、職業面での女性活躍推進に必要な支援

(問9で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた者に)
 問10 育児や介護、家事などに費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、職業生活における女性の活躍を更に推進するためには、特にどのような支援が必要だと思いますか。
 (は1つ)

令和4年11月

- ・長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備 21.6%
- ・育児や介護のための休業制度や短時間勤務制度など、仕事との両立を支援するための施策の整備 40.5%
- ・保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備 36.4%

「育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、職業生活における女性の活躍が進まない要因の一つだ」という意見について「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた者に

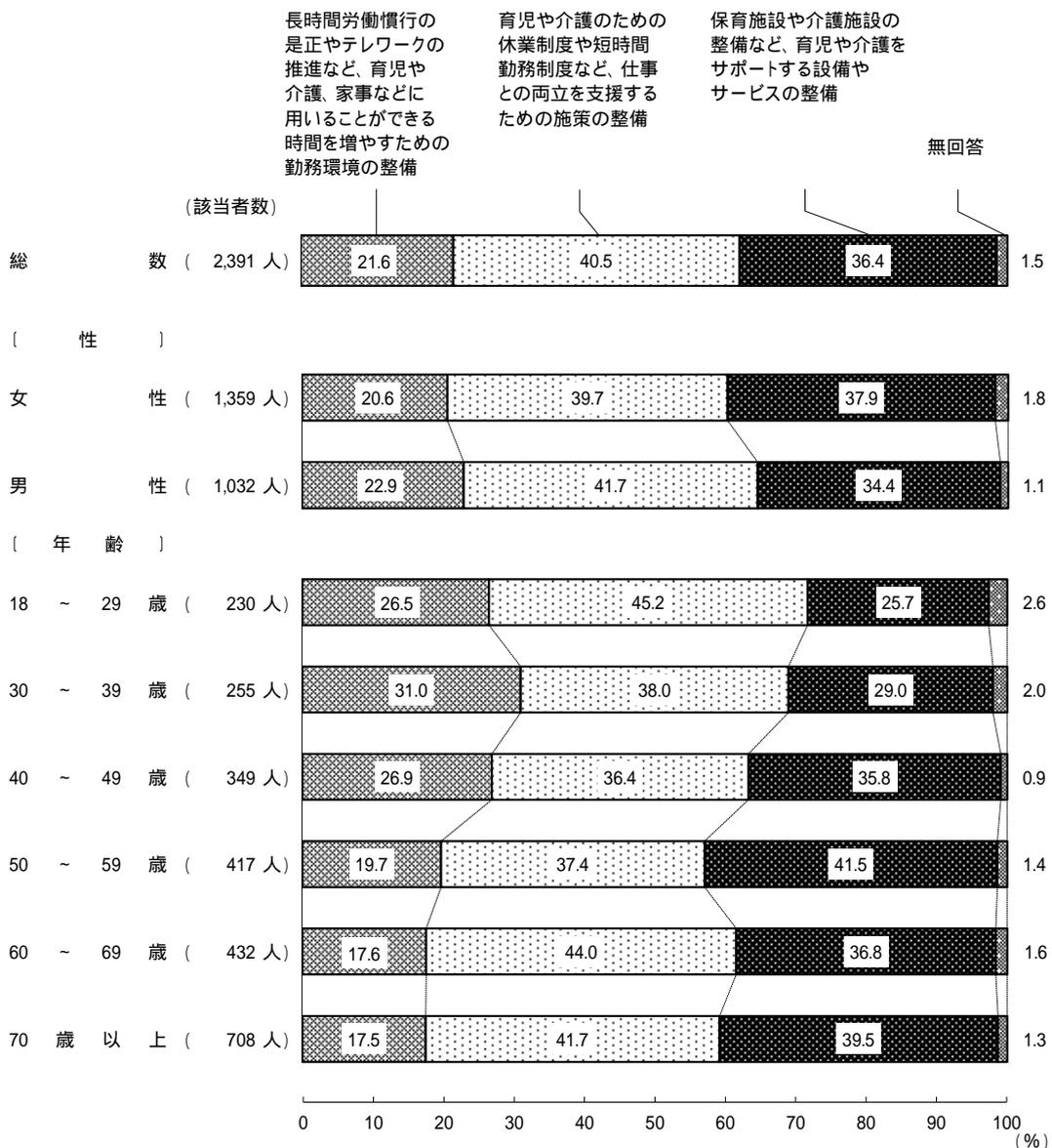


表 18 育児などに費やす時間の男女差を踏まえ、職業面での女性活躍推進に必要な支援

「育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、職業生活における女性の活躍が進まない要因の一つだという意見」について
「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた者に

	該 当 者 数	の 整 備 を 増 やす こと が た め の で 勤 務 環 境 に	育 児 介 護 の 推 進 に 支 援	長 時 間 の 働 き 方 の 改 善 を 促 す 支 援	制 度 の 整 備 を 促 す 支 援	保 育 施 設 の 整 備 を 促 す 支 援	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	2,391	21.6	40.5	36.4	1.5		
大 都 市 部	681	26.0	37.6	34.9	1.5		
東 京 都 区	153	26.1	32.0	37.9	3.9		
政 令 指 定 都 市	528	25.9	39.2	34.1	0.8		
中 都 市	951	21.8	40.6	35.8	1.9		
小 都 市	543	16.4	44.0	38.1	1.5		
町 村	216	19.9	40.7	39.4	-		
〔性〕							
女	1,359	20.6	39.7	37.9	1.8		
男	1,032	22.9	41.7	34.4	1.1		
〔年齢〕							
18 ~ 29 歳	230	26.5	45.2	25.7	2.6		
30 ~ 39 歳	255	31.0	38.0	29.0	2.0		
40 ~ 49 歳	349	26.9	36.4	35.8	0.9		
50 ~ 59 歳	417	19.7	37.4	41.5	1.4		
60 ~ 69 歳	432	17.6	44.0	36.8	1.6		
70 歳 以上	708	17.5	41.7	39.5	1.3		

3 夫婦の名字・姓に関する意識について

(1) 名字・姓に関する制度の在り方をめぐる議論に対する意識

問 11 夫婦の名字・姓に関する制度の在り方をめぐる議論について、自分または自分の周囲の人に関わる身近なこととして、あなたはこれまでに考えたことがありますか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・考えたことがある 41.3%
- ・考えたことがない 54.1%
- ・議論があることを知らない 2.8%

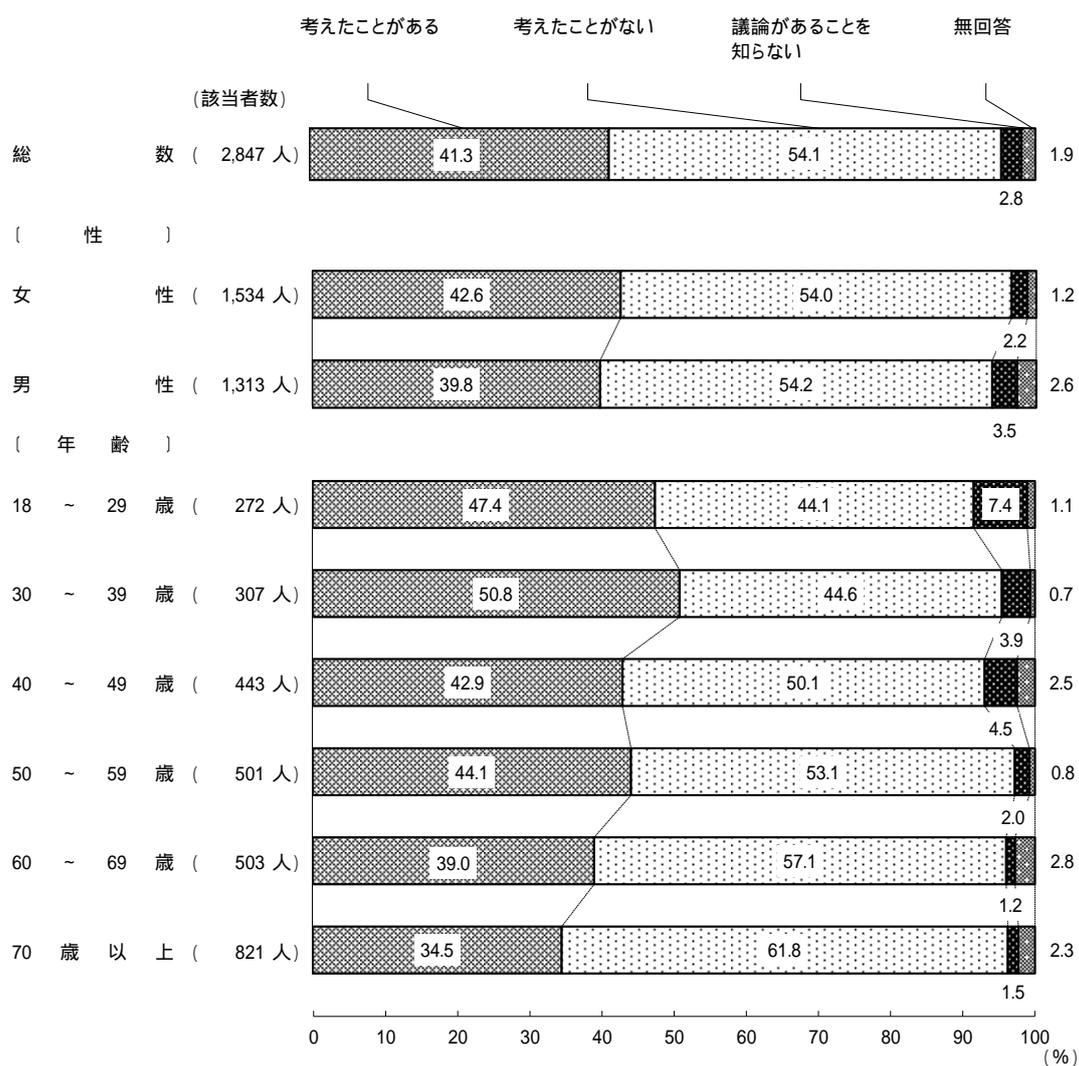


表 19 名字・姓に関する制度の在り方をめぐる議論に対する意識

	該 当 者 数	考 え た こ と が あ る	考 え た こ と が な い	知 識 論 が あ る こ と を 知 ら な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 女 性 男 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	2,847	41.3	54.1	2.8	1.9
	811	46.0	49.8	2.7	1.5
	186	47.8	47.3	1.6	3.2
	625	45.4	50.6	3.0	1.0
	1,141	39.4	55.0	3.5	2.0
	641	39.6	55.7	2.3	2.3
	254	38.6	59.1	1.2	1.2
	1,534	42.6	54.0	2.2	1.2
	1,313	39.8	54.2	3.5	2.6
	272	47.4	44.1	7.4	1.1
	307	50.8	44.6	3.9	0.7
	443	42.9	50.1	4.5	2.5
	501	44.1	53.1	2.0	0.8
	503	39.0	57.1	1.2	2.8
	821	34.5	61.8	1.5	2.3

(2) 旧姓使用の希望

問 12 あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字・姓が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。あなたが結婚している、していないに関わらず、お答えください。(○は1つ)

令和4年11月

- ・旧姓を通称として使用したいと思う 39.1%
- ・旧姓を通称として使用したいと思わない 58.7%

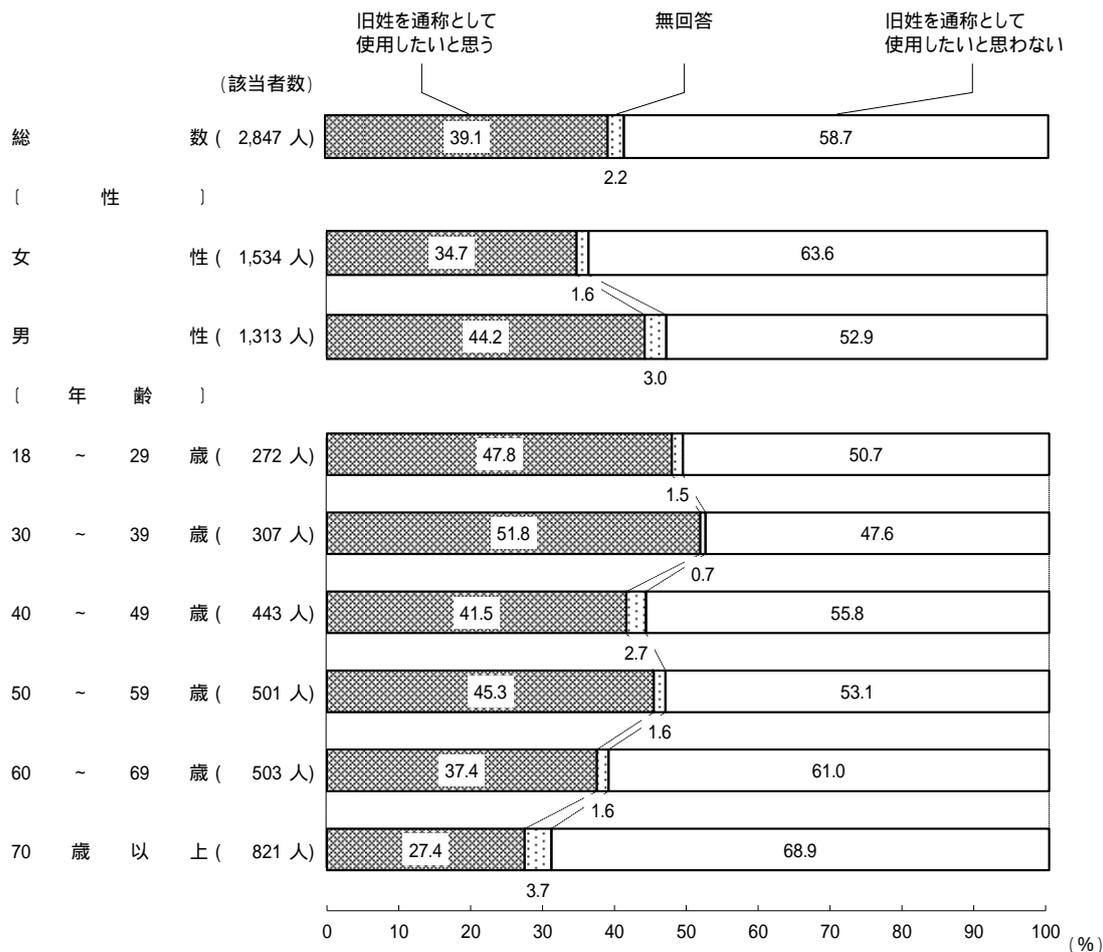


表 20 旧姓使用の希望

	該 当 者 数	旧 姓 を 通 称 と し て 使 用 し た い と 思 う	旧 姓 を 通 称 と し て 使 用 し た い と 思 わ な い	無 回 答
	人	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	2,847	39.1	58.7	2.2
東 京 都 区 部	811	46.6	50.9	2.5
政 令 指 定 都 市	186	54.8	41.9	3.2
中 都 市	625	44.2	53.6	2.2
小 都 市	1,141	37.9	59.9	2.2
町 村	641	33.1	64.4	2.5
〔 性 〕	254	35.4	63.4	1.2
女 性	1,534	34.7	63.6	1.6
男 性	1,313	44.2	52.9	3.0
〔 年 齢 〕				
18 ~ 29 歳	272	47.8	50.7	1.5
30 ~ 39 歳	307	51.8	47.6	0.7
40 ~ 49 歳	443	41.5	55.8	2.7
50 ~ 59 歳	501	45.3	53.1	1.6
60 ~ 69 歳	503	37.4	61.0	1.6
70 歳 以 上	821	27.4	68.9	3.7

表 20 - 参考 旧姓使用の希望

	該 当 者 数	旧 姓 を 通 称 と し て 使 用 し た い と 思 う	旧 姓 を 通 称 と し て 使 用 し た い と 思 わ な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
平 成 28 年 9 月 調 査	3,059	31.1	62.1	6.8
令 和 元 年 9 月 調 査	2,645	32.5	58.6	8.9

(注1) 「あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思えますか。あなたが結婚なさっている、いないに関わらず、お答えください。」と聞いている。

(注2) 令和元年9月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

4 女性に対する暴力等に関する意識について

(1) 女性に対する暴力の根絶を図るために対策が必要なもの

問 13 女性に対する暴力の根絶を図るため、あなたが対策が必要だと考えるのはどれですか。
(○はいくつでも)

(上位4項目)
令和4年11月

- ・ 配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV 78.6%
- ・ 強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力 72.8%
- ・ 児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力 68.3%
- ・ つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為 64.9%

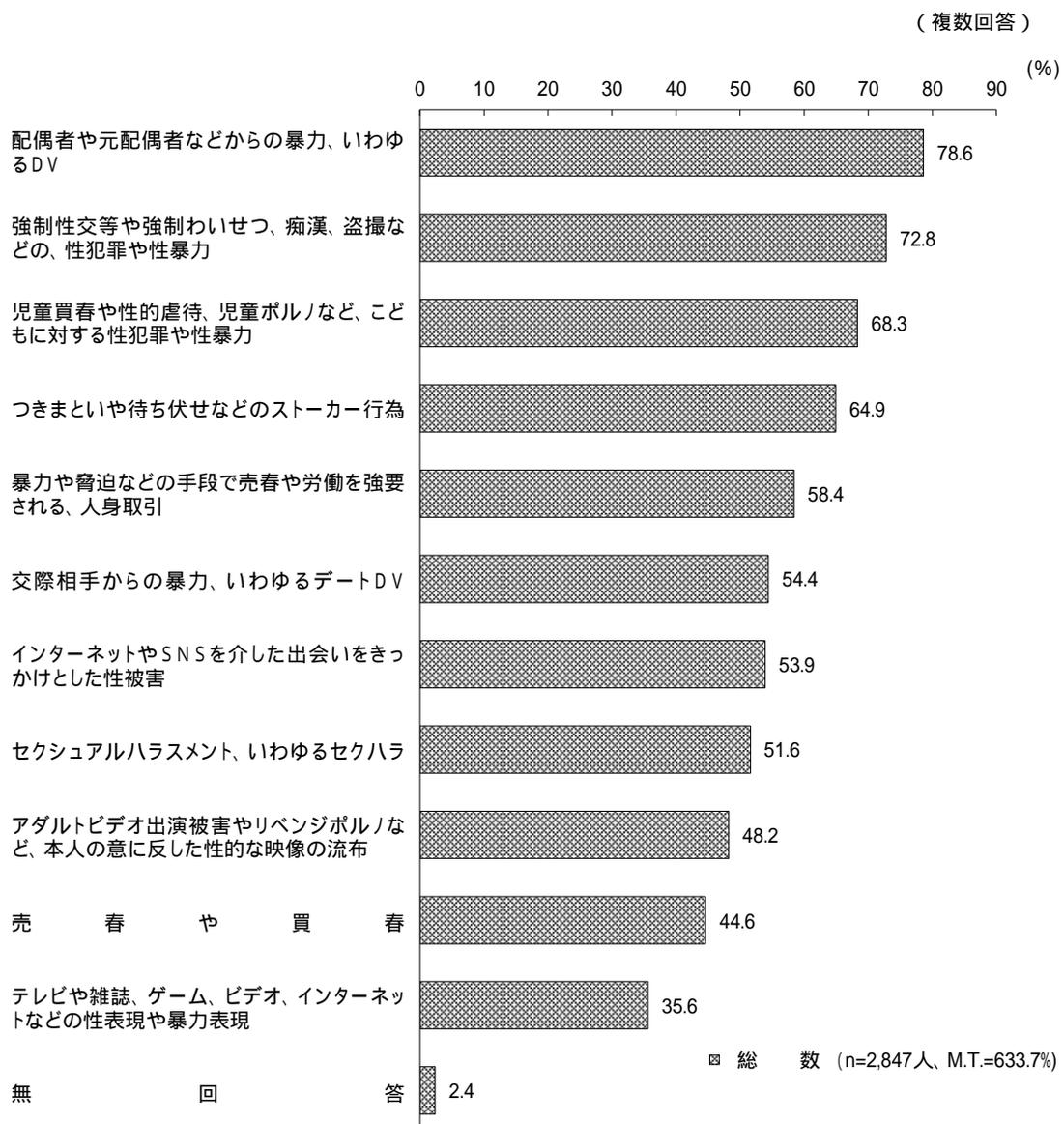


表 21 女性に対する暴力の根絶を図るために対策が必要なもの

(複数回答)

	該 当 者 数	ゆど配 るか偶 からのや の暴力、 偶 い者 わな	暴ない強 力どせ制 のつ、性 性痴等 犯漢や強 や盗制 や盗わ	性犯罪や性 犯罪や性 暴力	ど、待 、童 、買 、春 、や 、性 、的 、虐	行せつ 為なま どま のとい や待 ち 伏	要段暴 さで力 れる、や 、春脅 、や迫 、身、や 取、働 引、の 強手	D力、交 V、際 い相 わ手 ゆる から の暴
	人	%	%	%	%	%	%	
総数	2,847	78.6	72.8	68.3	64.9	58.4	54.4	
〔都市規模〕								
大都市	811	80.1	75.3	69.7	67.6	61.2	59.6	
東京都	186	79.6	74.7	68.3	69.9	62.9	62.9	
政令指定都市	625	80.3	75.5	70.1	66.9	60.6	58.6	
中都市	1,141	78.2	71.3	67.6	63.8	57.5	53.6	
小都市	641	76.6	71.8	67.4	63.0	54.9	50.5	
町	254	80.7	74.0	69.7	66.1	62.6	50.8	
〔性〕								
女性	1,534	79.2	75.1	72.0	65.4	58.7	55.1	
男性	1,313	77.9	70.1	64.0	64.3	58.0	53.5	
〔年齢〕								
18～29歳	272	88.2	80.9	66.2	72.1	63.2	71.3	
30～39歳	307	87.3	79.8	73.0	73.6	63.8	70.7	
40～49歳	443	87.4	75.8	73.4	73.4	63.2	69.8	
50～59歳	501	83.6	77.4	72.5	72.1	62.7	64.7	
60～69歳	503	75.9	74.0	65.8	62.0	59.6	47.7	
70歳以上	821	66.0	62.2	63.6	52.1	48.8	32.2	

表 21 女性に対する暴力の根絶を図るために対策が必要なもの (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	被をNイン 害きSン つをタ か介 けしネ とたツ し出ト た会や 性いS	クメセ ハンク ラトシ ユ いア わ ル ゆハ るラ セス	流反ノ被ア 布しな害ダ たどやル 性、リト の本ベビ な人ンデ 映のジオ 像意ボ出 のにル演	売 春 や 買 春	表 現 や 暴 力 表 現	タムレ 、ビ 、ビ 、テ 、オ 、イ 、ゲ 、ン	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	
総数	2,847	53.9	51.6	48.2	44.6	35.6	2.4	633.7	
〔都市規模〕									
大都市	811	52.8	52.5	50.4	47.2	34.5	2.2	653.1	
東京都	186	53.8	50.5	47.3	48.4	32.3	2.7	653.2	
政令指定都市	625	52.5	53.1	51.4	46.9	35.2	2.1	653.1	
中都市	1,141	54.3	50.4	47.8	43.1	34.7	2.8	625.1	
小都市	641	53.0	51.2	45.7	42.1	38.4	1.9	616.5	
町	254	57.5	55.5	49.2	49.2	35.8	2.4	653.5	
〔性〕									
女性	1,534	56.3	54.9	50.7	45.7	41.0	2.2	656.4	
男性	1,313	51.1	47.8	45.2	43.3	29.2	2.6	607.2	
〔年齢〕									
18～29歳	272	51.1	60.7	51.5	52.2	24.3	0.7	682.4	
30～39歳	307	53.4	59.0	56.4	51.1	30.9	-	699.0	
40～49歳	443	54.6	59.6	55.8	49.4	36.6	1.8	700.7	
50～59歳	501	52.7	54.1	54.9	46.9	38.7	0.8	681.0	
60～69歳	503	54.9	47.7	43.7	42.5	35.2	3.0	612.1	
70歳以上	821	54.7	42.5	38.6	36.9	38.9	4.8	541.3	

(2) 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの

問 14 女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、あなたが知っているものをあげてください。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和4年11月

- ・自殺対策相談窓口 37.0%
- ・こころの健康相談統一ダイヤル 28.9%
- ・ひきこもり地域支援センター 21.7%
- ・女性の人権ホットライン 20.8%

- ・知っているものはない 33.1%

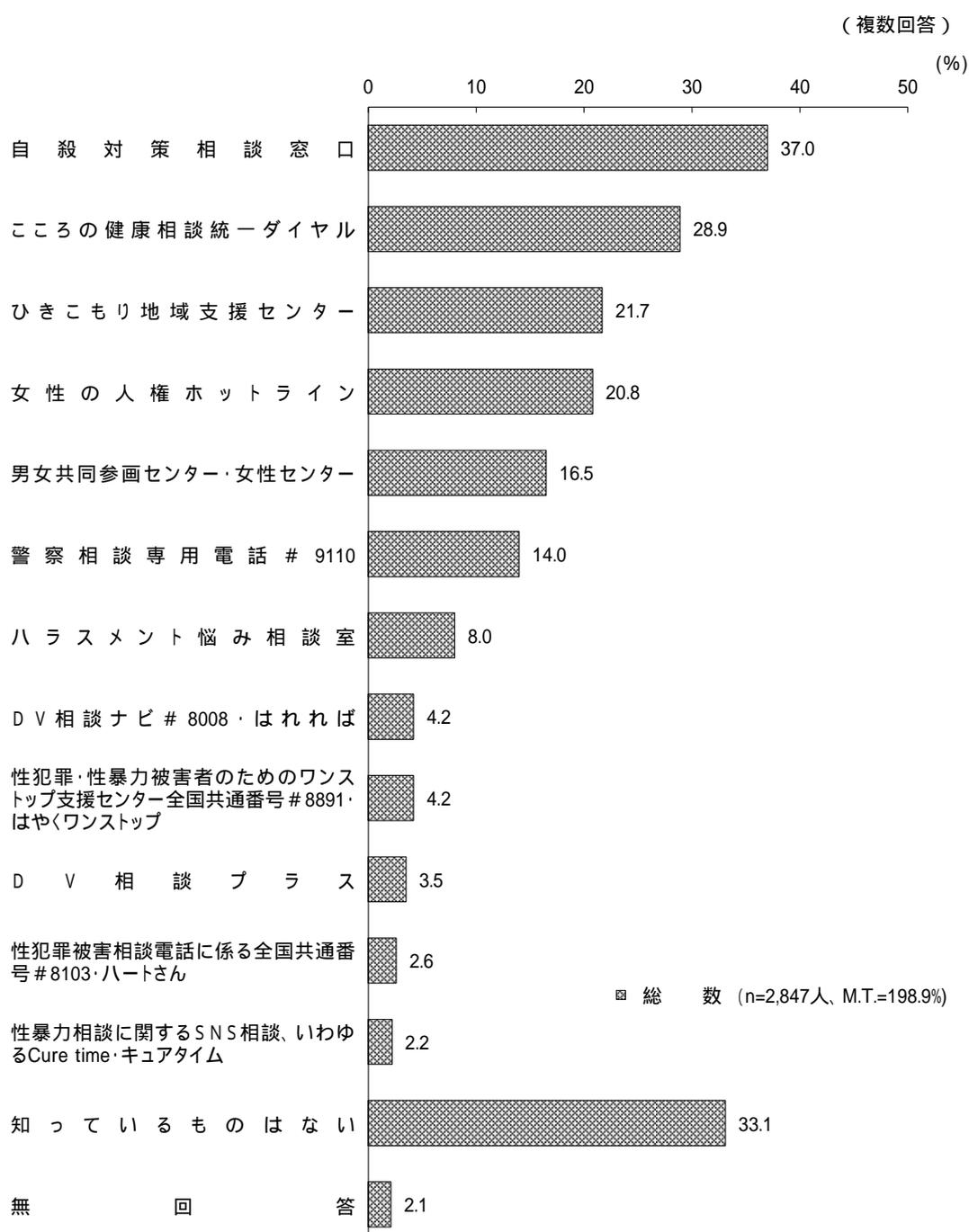


表 22 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの

(複数回答)

	該 当 者 数	自 殺 対 策 相 談 窓 口	こ こ ろ の 健 康 相 談 統 一 ダ イ ヤ ル	ひ き こ も り 地 域 支 援 セ ン タ ー	女 性 の 人 権 ホ ッ ト ラ イ ン	タ ワ ウ 女 共 同 参 画 セ ン タ ー ・ 女 性 セ ン タ ー	警 察 相 談 専 用 電 話 # 9 1 1 0	ハ ラ ス メ ン ト 悩 み 相 談 室
	人	%	%	%	%	%	%	%
総〔大都市規模〕数	2,847	37.0	28.9	21.7	20.8	16.5	14.0	8.0
〔大東政〕	811	37.2	27.9	19.6	19.6	14.8	13.3	7.4
〔都京指〕	186	39.8	24.7	15.1	19.4	17.7	12.4	7.5
〔市都定〕	625	36.5	28.8	21.0	19.7	13.9	13.6	7.4
〔市市市〕	1,141	36.8	29.4	20.1	20.2	17.4	13.8	8.5
〔中政〕	641	37.3	27.8	25.9	21.8	17.5	15.1	7.8
〔小都〕	254	36.6	32.7	25.2	24.8	15.4	14.2	8.3
〔町都性〕	1,534	38.1	32.5	23.7	24.5	17.7	12.2	6.7
〔女男〕	1,313	35.7	24.7	19.4	16.5	15.1	16.1	9.5
〔年〕	272	34.6	34.2	10.7	21.3	16.5	15.4	8.8
〔18～29〕	307	34.5	29.3	11.4	20.5	13.0	9.4	8.1
〔30～39〕	443	33.6	28.9	12.2	21.4	13.8	10.2	4.7
〔40～49〕	501	42.9	32.7	19.8	26.5	20.0	10.2	10.8
〔50～59〕	503	44.1	30.6	28.8	24.3	18.1	14.9	8.0
〔60～69〕	821	32.6	23.5	31.2	14.9	16.1	19.1	7.8
〔70歳以上〕								

表 22 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの(続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	D V 相 談 ナ ビ # 8 0 0 8 ・ は れ ば	# 8 8 9 1 ・ は や く ワ ン ス ト ッ プ	性 暴 力 被 害 者 の た め の ワ ン ス ト ッ プ	D V 相 談 ブ ラ ス	性 暴 力 被 害 者 の た め の ワ ン ス ト ッ プ ハ ー ト さ ん	タ ワ ウ 女 共 同 参 画 セ ン タ ー ・ 女 性 セ ン タ ー	知 っ て い る も の は な い	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総〔大都市規模〕数	2,847	4.2	4.2	3.5	2.6	2.2	33.1	2.1	198.9	
〔大東政〕	811	3.6	3.6	3.2	2.1	1.2	35.3	2.2	191.0	
〔都京指〕	186	3.8	2.7	2.2	1.1	1.6	34.4	2.7	184.9	
〔市都定〕	625	3.5	3.8	3.5	2.4	1.1	35.5	2.1	192.8	
〔市市市〕	1,141	3.9	3.3	3.3	2.2	1.9	32.9	1.6	195.3	
〔中政〕	641	5.0	5.9	3.9	2.8	3.6	31.2	2.5	208.1	
〔小都〕	254	5.9	5.5	4.7	5.5	3.5	31.5	3.1	216.9	
〔町都性〕	1,534	4.1	3.5	3.3	2.2	2.1	31.0	1.6	203.2	
〔女男〕	1,313	4.3	5.0	3.9	3.0	2.4	35.4	2.7	193.8	
〔年〕	272	4.0	3.7	3.3	3.3	2.6	36.4	0.4	195.2	
〔18～29〕	307	5.2	2.3	2.9	0.3	1.3	36.2	1.0	175.6	
〔30～39〕	443	4.3	2.5	2.9	0.9	1.6	37.2	2.5	176.7	
〔40～49〕	501	4.6	3.4	2.4	1.8	1.2	32.1	0.8	209.2	
〔50～59〕	503	3.6	6.2	3.6	1.8	1.2	27.0	2.2	214.3	
〔60～69〕	821	4.0	5.2	4.9	5.1	4.1	32.8	3.7	205.0	
〔70歳以上〕										

表 22 - 参考 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの

(複数回答)

	該 当 者 数	ひ き こ も り 地 域 支 援 セ ン タ ー	自 殺 対 策 相 談 窓 口	こ こ ろ の 健 康 相 談 統 一 ダ イ ヤ ル	女 性 の 人 権 ホ ツ ト ラ イ ン	D V 相 談 ナ ビ	警 察 相 談 専 用 電 話 # 9 1 1 0	男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー ・ 女 性 セ ン タ ー
	人	%	%	%	%	%	%	%
令 和 元 年 9 月 調 査	2,645	42.6	39.8	35.5	31.5	28.9	24.2	23.5

表 22 - 参考 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で知っているもの (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	ハ ラ ス メ ン ト 悩 み 相 談 室	番 号 # 8 1 0 3 (ハ ー ト さ ん) 性 犯 罪 被 害 相 談 電 話 に 係 る 全 国 共 通 電 話	ト ッ プ 支 援 セ ン タ ー 性 犯 罪 ・ 性 暴 力 被 害 者 の た め の ワ ン ス	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
令 和 元 年 9 月 調 査	2,645	20.8	14.3	12.7	0.2	17.2	5.1	296.3

(注1) 「政府が設置している女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、あなたが知っているものを、この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

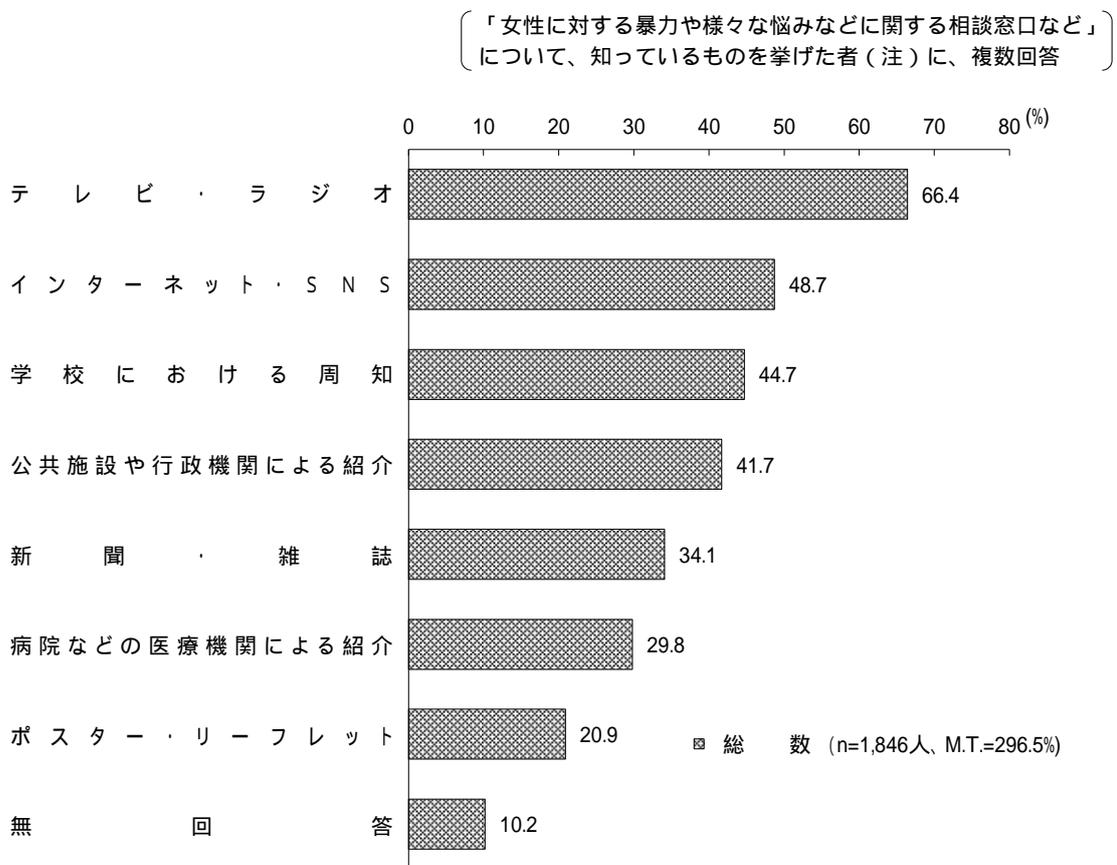
(注2) 令和元年9月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

ア 相談窓口の認知度向上のために、効果的だと思う周知方法

(問 14 で、相談窓口で知っているものを挙げた者(注)に)
 問 15 相談窓口の認知度を向上させるためには、どのような方法による周知が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 4 項目)
 令和 4 年 11 月

- ・テレビ・ラジオ 66.4%
- ・インターネット・SNS 48.7%
- ・学校における周知 44.7%
- ・公共施設や行政機関による紹介 41.7%



(注) 「女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、あなたが知っているものをあげてください。」という問いに「知っているものはない」以外を挙げた者に「相談窓口の認知度を向上させるためには、どのような方法による周知が効果的だと思いますか。」と聞いている。

表 23 相談窓口の認知度向上のために、効果的だと思う周知方法

「女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口など」
 について、知っているものを挙げた者（注）に、複数回答

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト ・ S N S	学 校 に お け る 周 知	公 共 施 設 や 行 政 機 関 に よ る 紹 介	新 聞 ・ 雑 誌	病 院 な ど の 医 療 機 関 に よ る 紹 介	ポ ス タ ー ・ リ ー フ レ ッ ト	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,846	66.4	48.7	44.7	41.7	34.1	29.8	20.9	10.2	296.5
大 都 市	507	65.9	52.7	46.4	38.3	29.8	29.0	20.1	10.3	292.3
東 京 都 区 部	117	56.4	56.4	42.7	27.4	30.8	24.8	21.4	17.9	277.8
政 令 指 定 都 市	390	68.7	51.5	47.4	41.5	29.5	30.3	19.7	7.9	296.7
中 都 市	748	65.6	50.4	45.9	41.8	31.8	31.1	21.7	10.3	298.7
小 都 市	425	69.2	44.0	41.9	43.5	41.9	31.1	20.5	8.9	300.9
町 〔性〕	166	63.9	41.0	42.2	46.4	37.3	22.9	21.1	13.3	288.0
女 性	1,033	64.3	49.0	46.0	42.5	32.9	33.3	22.2	11.3	301.5
男 性	813	69.0	48.3	43.2	40.6	35.5	25.3	19.3	8.9	290.2
〔年 齢〕										
18 ~ 29 歳	172	51.7	61.6	50.6	33.7	12.2	30.2	18.0	15.1	273.3
30 ~ 39 歳	193	54.4	64.8	43.0	29.5	14.5	28.5	17.1	15.0	266.8
40 ~ 49 歳	267	61.8	63.3	55.1	40.4	28.8	37.8	26.6	8.6	322.5
50 ~ 59 歳	336	67.3	58.0	44.3	35.7	31.3	29.5	23.5	11.0	300.6
60 ~ 69 歳	356	75.0	47.5	44.4	41.0	41.3	28.7	22.5	9.0	309.3
70 歳 以 上	522	71.5	25.9	38.7	53.6	48.1	27.0	17.6	8.0	290.4

（注）「女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、あなたが知っているものをあげてください。」という問いに「知っているものはない」以外を挙げた者に「相談窓口の認知度を向上させるためには、どのような方法による周知が効果的だと思いますか。」と聞いている。

(3) 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと

問 16 あなたは、女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(はいいくつでも)

(上位4項目)

令和4年11月

- ・ 24時間相談ができる 65.8%
- ・ 医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、
無料で支援が受けられる 60.4%
- ・ 匿名で相談ができる 57.3%
- ・ 通話料が無料 55.2%

(複数回答)

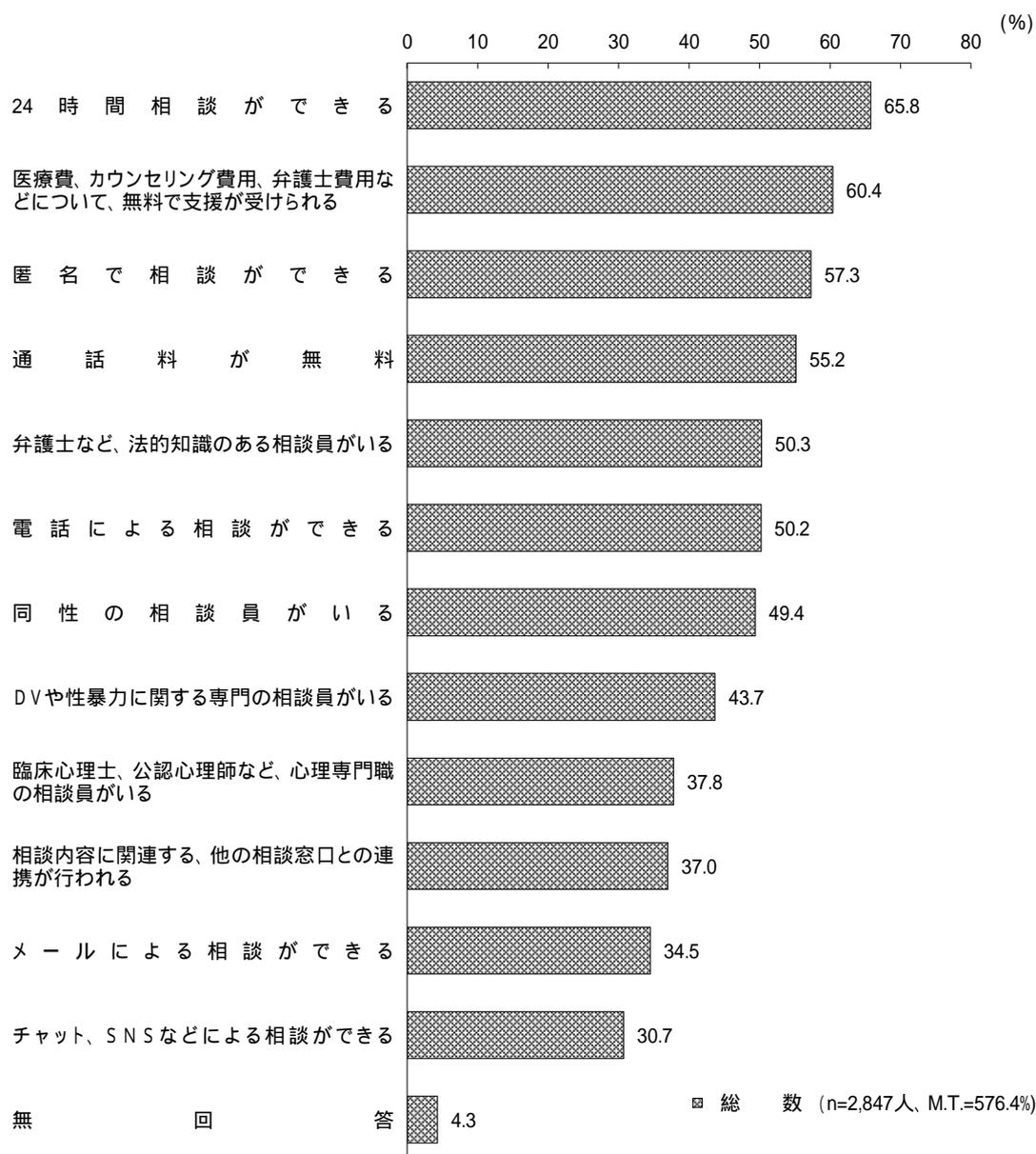


表 24 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと

(複数回答)

	該 当 者 数	2 4 時 間 相 談 が で き る	医 療 費 、 支 援 士 費 が 受 け ら れ る	匿 名 で 相 談 が で き る	通 話 料 が 無 料	弁 護 士 な ど 、 法 的 知 識 の あ る 相 談 員 が い る	電 話 に よ る 相 談 が で き る	同 性 の 相 談 員 が い る
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	65.8	60.4	57.3	55.2	50.3	50.2	49.4
〔大都市規模〕	811	66.3	62.0	61.5	55.4	51.8	49.8	50.8
〔大東京都市圏〕	186	66.7	66.1	61.3	53.2	58.1	53.8	60.8
〔政令指定都市〕	625	66.2	60.8	61.6	56.0	49.9	48.6	47.8
〔中小都市〕	1,141	66.2	60.9	57.2	55.1	51.0	50.4	48.5
〔小都市〕	641	64.4	59.0	52.1	55.7	47.3	49.6	47.9
〔町〕	254	65.4	57.1	56.7	53.5	50.0	51.6	53.1
〔女性〕	1,534	66.1	63.0	59.3	58.0	48.9	47.8	51.3
〔男女〕	1,313	65.3	57.5	54.8	51.9	51.9	52.9	47.2
〔18歳～29歳〕	272	70.2	60.3	70.6	60.3	45.6	39.0	60.7
〔30歳～39歳〕	307	68.7	60.3	64.5	57.3	57.3	37.5	56.7
〔40歳～49歳〕	443	73.8	64.3	69.3	61.4	58.9	43.3	59.4
〔50歳～59歳〕	501	68.7	63.7	59.1	58.3	56.7	50.9	53.9
〔60歳～69歳〕	503	69.0	62.6	54.5	55.5	50.9	53.1	45.3
〔70歳以上〕	821	55.1	55.2	44.2	47.3	40.3	60.0	37.4

表 24 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	D V が い る	臨 床 心 理 士 、 心 理 学 専 門 職 の 相 談 員 が い る	窓 口 と の 連 携 が 行 わ れ る	メ ー ル に よ る 相 談 が で き る	チャット、SNSなどによる相談ができる	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	43.7	37.8	37.0	34.5	30.7	4.3	576.4
〔大都市規模〕	811	45.3	38.7	38.6	37.7	34.6	3.9	596.5
〔大東京都市圏〕	186	45.2	39.8	40.9	37.1	38.2	4.8	625.8
〔政令指定都市〕	625	45.3	38.4	37.9	37.9	33.6	3.7	587.8
〔中小都市〕	1,141	45.0	39.1	38.0	33.7	32.1	4.6	581.7
〔小都市〕	641	40.1	33.7	32.1	32.3	24.3	4.5	543.1
〔町〕	254	41.7	39.0	39.4	33.9	28.0	3.1	572.4
〔女性〕	1,534	44.3	40.5	39.2	31.8	28.7	3.9	582.9
〔男女〕	1,313	43.0	34.6	34.4	37.7	33.0	4.6	568.8
〔18歳～29歳〕	272	46.7	42.6	30.5	39.0	60.7	1.1	627.2
〔30歳～39歳〕	307	48.2	44.3	41.0	44.0	54.1	2.9	636.8
〔40歳～49歳〕	443	50.1	42.9	39.3	46.3	45.1	4.1	658.2
〔50歳～59歳〕	501	50.1	42.7	44.3	42.7	34.9	2.6	628.5
〔60歳～69歳〕	503	45.9	34.0	40.0	30.4	18.9	4.8	564.8
〔70歳以上〕	821	32.2	30.2	30.1	20.7	8.9	6.6	468.1

表 24 参考 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと

(複数回答)

	該 当 者 数	2 4 時 間 相 談 が で き る	匿 名 で 相 談 が で き る	弁 護 士 な ど、 法 的 知 識 の あ る 相 談 員 が い る	同 性 の 相 談 員 が い る	通 話 料 が 無 料	電 話 に よ る 相 談 が で き る	臨 床 心 理 士、 公 認 心 理 士 な ど、 心 理 専 門 職 の 相 談 員 が い る
	人	%	%	%	%	%	%	%
令和元年9月調査	2,645	60.9	52.4	51.9	49.0	45.3	42.2	40.8

表 24 参考 女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口で配慮してほしいこと(続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	L I N E な ど の S N S に よ る 相 談 が で き る	メ ー ル に よ る 相 談 が で き る	相 談 内 容 に 関 連 す る、 他 の 相 談 窓 口 と の 連 携 が 行 わ れ る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
令和元年9月調査	2,645	31.7	29.8	29.7	0.3	3.5	2.8	440.1

(注1) 「あなたは、女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 令和元年9月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

5 男女共同参画社会に関する行政への要望について

(1) 男女共同参画社会に関する行政への要望

【資料2】

「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。

(上記資料2を提示して)

問17.あなたは「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位6項目)
令和4年11月

- ・ 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する 63.5%
- ・ 育児や介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する 62.7%
- ・ 保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する 59.3%
- ・ 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める 50.2%
- ・ 法律や制度の面で見直しを行う 47.9%
- ・ 国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、
政策決定の場に女性を積極的に登用する 44.9%

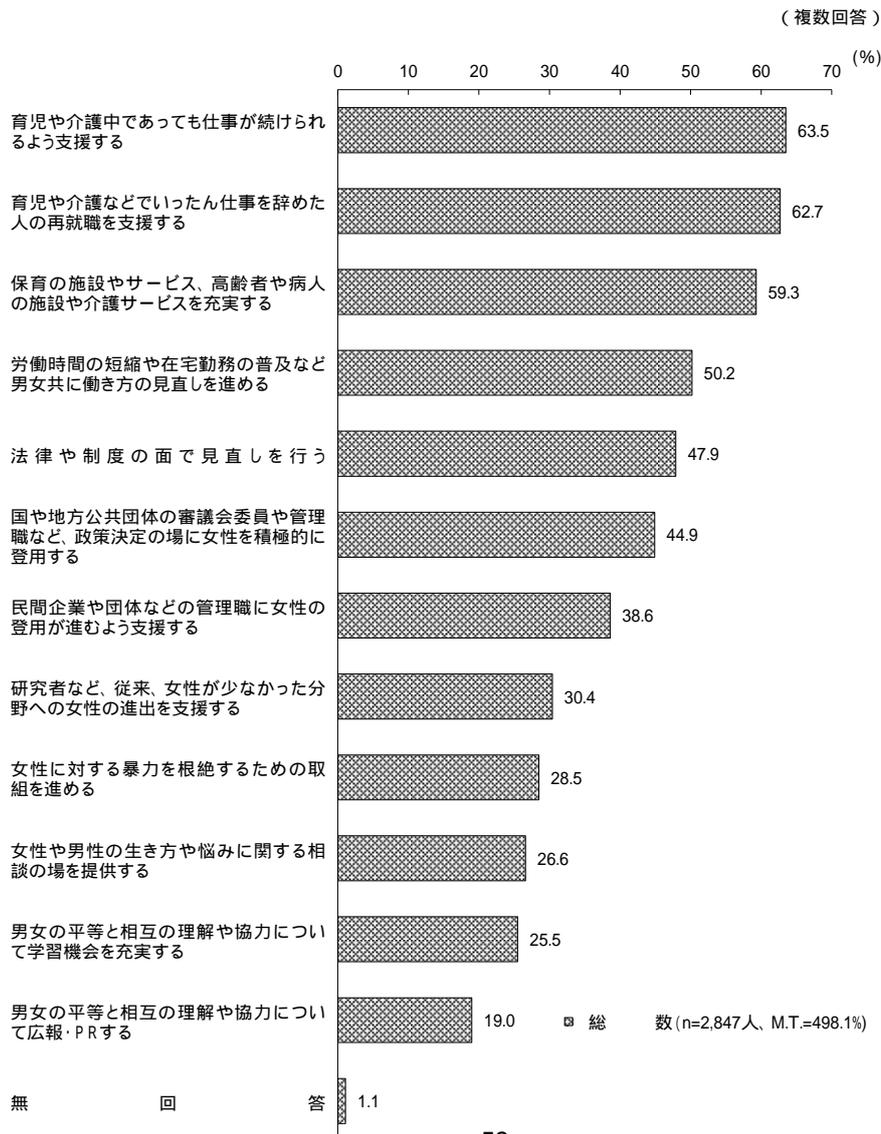


表 25 男女共同参画社会に関する行政への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	育 児 や 介 護 中 で あ っ て も 仕 事 が 続 け ら れ る よ う 支 援 す る	育 児 や 介 護 な ど で い っ た ん 仕 事 を 辞 め た 人 の 再 就 職 を 支 援 す る	保 育 の 施 設 や サ ー ビ ス 、 高 齢 者 や 病 人 の 施 設 や サ ー ビ ス を 充 実 す る	及 勤 時 間 の 短 縮 や 在 宅 勤 務 の 普 通 化 を 進 め る	法 律 や 制 度 の 面 で 見 直 し を 行 う	国 や 地 方 公 共 団 体 の 審 議 会 委 員 や 管 理 職 な ど 、 政 策 決 定 の 場 に 女 性 を 積 極 的 に 登 用 す る	民 間 の 企 業 や 団 体 な ど の 管 理 職 に 女 性 の 登 用 が 進 む よ う 支 援 す る
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	63.5	62.7	59.3	50.2	47.9	44.9	38.6
大都市圏	811	66.5	64.6	60.2	53.0	50.3	46.2	40.6
大都市圏	186	72.6	65.6	64.0	56.5	57.5	51.1	38.7
政令指定都市	625	64.6	64.3	59.0	52.0	48.2	44.8	41.1
中小都市	1,141	62.2	62.1	59.2	51.6	48.0	43.4	36.5
町	641	62.4	62.1	56.5	44.6	44.9	43.7	38.4
性	254	62.6	61.4	63.8	48.8	46.9	50.0	42.1
女性	1,534	66.6	65.3	64.6	50.3	46.8	45.8	37.7
男性	1,313	59.9	59.7	53.0	50.1	49.1	43.7	39.6
年齢								
18歳	272	62.5	62.1	52.2	65.4	57.0	40.4	31.3
30歳	307	67.8	66.8	51.1	64.5	51.1	42.0	34.9
40歳	443	64.8	65.7	52.8	56.7	50.1	39.1	40.4
50歳	501	65.9	61.5	62.1	49.3	48.5	43.7	36.3
60歳	503	66.2	61.8	64.8	45.5	47.7	48.3	40.6
70歳以上	821	58.5	61.1	63.0	39.7	42.1	49.1	41.7

表 25 男女共同参画社会に関する行政への要望 (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	研 究 者 な ど 、 従 来 、 女 性 の 進 出 を 支 援 す る	女 性 の 取 組 を 進 め る	女 性 や 男 性 の 生 き 方 や 悩 み に 関 する 相 談 の 場 を 提 供 す る	男 女 の 平 等 と 相 互 の 理 解 や 協 力 に つ い て 学 習 機 会 を 充 実 す る	男 女 の 平 等 と 相 互 の 理 解 や 協 力 に つ い て 広 報 ・ P R す る	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	2,847	30.4	28.5	26.6	25.5	19.0	1.1	498.1
大都市圏	811	32.1	29.3	26.8	27.1	19.1	0.9	516.6
大都市圏	186	36.0	31.2	30.1	26.9	22.0	-	552.2
政令指定都市	625	30.9	28.8	25.8	27.2	18.2	1.1	506.1
中小都市	1,141	31.0	27.3	26.6	24.5	18.3	0.8	491.5
町	641	26.2	27.5	26.8	24.8	19.3	1.6	478.8
性	254	33.1	34.3	25.2	26.8	21.3	1.6	517.7
女性	1,534	32.5	28.9	27.6	24.6	18.4	1.1	510.4
男性	1,313	28.0	28.0	25.4	26.6	19.8	1.0	483.9
年齢								
18歳	272	32.0	36.0	36.4	30.1	18.4	0.4	524.3
30歳	307	35.2	23.5	26.4	26.1	14.3	-	503.6
40歳	443	31.2	30.2	27.3	27.3	22.8	0.9	509.3
50歳	501	26.7	27.3	25.1	28.3	19.2	0.8	494.8
60歳	503	27.8	29.6	24.1	22.5	19.1	0.4	498.4
70歳以上	821	31.5	27.0	25.3	23.0	18.9	2.3	483.3

表 25 - 参考 男女共同参画社会に関する行政への要望

(複数回答)

	該 当 者 数	子育てや介護 の継続や支 援を受ける こと	保育施設・サ ービスや、高 齢者充 足	子育てや介護 の継続や支 援を受ける こと	労働時間の短 縮や在宅勤 務の普及	法律や制度の 見直しを行 う	国・地方公共 団体の審議 会委員や 女性管理職 の増加	民間企業・団 体の管理職 に女性	従来、女性 が少なかった 分野への進 出を支援研 究
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 19 年 8 月 調 査	3,118	55.7	56.5	57.0	42.8	43.5	35.3	34.5	30.8
平成 21 年 10 月 調 査	3,240	63.3	62.7	64.3	46.8	47.0	41.5	39.9	35.9
平成 24 年 10 月 調 査	3,033	61.0	59.9	61.6	45.9	45.8	44.9	42.1	40.4
平成 28 年 9 月 調 査 (うち 20 歳以上)	2,999	59.3	54.6	56.5	45.1	43.2	40.5	41.4	32.7
平成 28 年 9 月 調 査	3,059	59.3	54.2	56.5	45.2	43.1	40.5	41.4	32.9
令和元年 9 月 調 査	2,645	58.0	57.8	52.7	44.2	40.1	37.8	37.8	32.4

表 25 - 参考 男女共同参画社会に関する行政への要望 (続き)

(複数回答)

	該 当 者 数	女性の暴力を 根絶するため の取り組み	男女の平等と 相互の理解や 協力につい ての学習機 会を充実す る	女性や男性の 生き方や悩 みに関する 相談の場を 提供する	男女の平等 と相互の理 解や協力の 促進につい ての広報・P R	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 19 年 8 月 調 査	3,118		21.7	25.8	22.5	0.7	3.6	4.7	435.4
平成 21 年 10 月 調 査	3,240		26.6	29.6	22.8	0.6	3.0	3.0	487.2
平成 24 年 10 月 調 査	3,033		23.9	27.7	21.2	0.6	2.9	3.6	481.6
平成 28 年 9 月 調 査 (うち 20 歳以上)	2,999	24.5	25.7	24.3	18.3	0.4	2.2	2.9	471.6
平成 28 年 9 月 調 査	3,059	24.5	25.9	24.3	18.2	0.4	2.2	2.9	471.3
令和元年 9 月 調 査	2,645	31.5	28.9	28.6	19.3	0.9	2.6	3.6	476.1

(注 1) 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注 2) 表中の「 」は、当該年度には調査をしていない項目であることを示す。

(注 3) 令和元年 9 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年 11 月調査との単純比較は行わない。

男女共同参画社会に関する世論調査

令和4年11月

(n=2,847)

男女共同参画社会に関する意識についておうかがいします

この下の問1からお答えください

問1. あなたは、次の(1)から(7)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

(はそれぞれ1つ)

(1) 家庭生活

- (9.0) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (50.8) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (31.7) 3 . 平等
- (7.0) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (1.0) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (0.6) 無回答

(2) 職場

- (16.0) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (48.1) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (26.4) 3 . 平等
- (6.5) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (1.2) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (1.8) 無回答

(3) 学校教育の場

- (3.0) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (21.5) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (68.1) 3 . 平等
- (4.7) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (0.6) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (2.1) 無回答

(4) 政治の場

- (46.4) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (41.5) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (9.6) 3 . 平等
- (1.4) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (0.3) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (0.8) 無回答

(5) 法律や制度の上

- (11.7) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (40.6) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (37.0) 3 . 平等
- (8.3) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (1.4) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (1.1) 無回答

(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

- (24.1) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (57.8) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (12.9) 3 . 平等
- (3.1) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (0.3) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (1.9) 無回答

(7) 自治会やPTAなどの地域活動の場

- (10.2) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (37.6) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (40.2) 3 . 平等
- (8.8) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (1.1) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (2.1) 無回答



問 2. あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

(は1つ)

- (14.0) 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- (64.7) 2 . どちらかといえば男性の方が優遇されている
- (14.7) 3 . 平等
- (4.2) 4 . どちらかといえば女性の方が優遇されている
- (0.6) 5 . 女性の方が非常に優遇されている
- (1.7) 無回答

問 3. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。

(は1つ)

- (0.7) 1 . 女性は職業をもたない方がよい
- (2.6) 2 . 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- (7.7) 3 . こどもができるまでは、職業をもつ方がよい
- (59.5) 4 . こどもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- (27.1) 5 . こどもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- (2.4) 無回答

ここからは、家庭生活等に関する意識についておうかがいします

問 4. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。

(は1つ)

- (4.0) 1 . 賛成
- (29.4) 2 . どちらかといえば賛成
- (38.2) 3 . どちらかといえば反対
- (26.1) 4 . 反対
- (2.2) 無回答

1又は2と答えた方は問5へ

右のページの問7に進んでください

右の段の問6に進んでください

問 4 で「1. 賛成」、「2. どちらかといえば賛成」と答えた方への質問

問 5. 賛成と思うのはなぜですか。

(はいくつでも)

- (n=953)
- (11.1) 1 . 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
- (8.3) 2 . 自分の両親も役割分担をしていたから
- (32.1) 3 . 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- (59.0) 4 . 妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから
- (56.0) 5 . 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
- (0.9) 無回答 (M.T.=167.5)

右のページの問7に進んでください

問 4 で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」と答えた方への質問

問 6. 反対と思うのはなぜですか。

(はいくつでも)

- (n=1,831)
- (35.7) 1 . 男女平等に反すると思うから
- (13.3) 2 . 自分の両親も外で働いていたから
- (44.8) 3 . 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
- (40.0) 4 . 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
- (18.4) 5 . 育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
- (70.8) 6 . 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
- (0.9) 無回答 (M.T.=223.8)

右のページの問7に進んでください

ここからは全員の方がお答えください

問7. あなたは、今後、男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(はいくつでも)

- (60.7) 1. 男性が育児・家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- (20.2) 2. 男性が育児・家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- (61.8) 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- (44.5) 4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
- (44.5) 5. 社会の中で、男性による育児・家事などについても、その評価を高めること
- (66.7) 6. 男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
- (46.8) 7. 労働時間の短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- (24.1) 8. 男性の育児・家事などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
- (24.1) 9. 男性が育児・家事などを行うための、仲間作りやネットワーク作りをすすめること
- (1.8) 無回答 (M.T.=395.2)

問8. あなたは、次の(1)から(3)の育児、介護などの家庭で担われている役割について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。

なお、育児、介護などをしている、していないに関わらず、お答えください。また、配偶者がいる、いないに関わらず、お答えください。

(はそれぞれ1つ)

(1) 育児

- (11.8) 1. 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担
- (5.9) 2. 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担
- (4.8) 3. 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担
- (57.6) 4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
- (11.0) 5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
- (5.5) 6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
- (3.2) 無回答

(2) 介護

- (3.5) 1. 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担
- (1.2) 2. 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担
- (1.1) 3. 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担
- (73.8) 4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
- (12.8) 5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
- (5.0) 6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
- (2.7) 無回答

(3) 育児・介護以外の家事

- (33.4) 1. 外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担
- (10.0) 2. 外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担
- (6.2) 3. 外部サービスは利用せず、配偶者の方が自分より多く分担
- (39.1) 4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
- (6.0) 5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
- (2.7) 6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
- (2.6) 無回答

全員の方が【資料1】を読んでから下の問9以降にお答えください

【資料1】

総務省の「令和3年社会生活基本調査」によると、夫婦共働き世帯において、1日の中で、育児や介護、家事などに費やす時間を男女別に比較すると、男性は53分、女性は4時間18分となっています。同様に、仕事に費やす時間を男女別に比較すると、男性は6時間54分、女性は4時間16分となっています。育児や介護、家事などに費やす時間は女性の方が長く、仕事に費やす時間は男性の方が長い現状となっています。

問9. 育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、職業生活における女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。

(は1つ)

- (38.0) 1. そう思う
- (46.0) 2. どちらかといえばそう思う
- (10.2) 3. どちらかといえばそうは思わない
- (4.5) 4. そうは思わない
- (1.4) 無回答

3又は4と答えた方、無回答は問11へ

問9で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた方への質問

問10. 育児や介護、家事などに費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、職業生活における女性の活躍を更に推進するためには、特にどのような支援が必要だと思いますか。

(は1つ)

(n=2,391)

- (21.6) 1. 長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備
- (40.5) 2. 育児や介護のための休業制度や短時間勤務制度など、仕事との両立を支援するための施策の整備
- (36.4) 3. 保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備
- (1.5) 無回答

右の段の問11に進んでください

ここからは、夫婦の名字・姓に関する意識についてお答えをお願いします

ここからは全員の方がお答えください

問11. 夫婦の名字・姓に関する制度の在り方をめぐる議論について、自分または自分の周囲の人に関わる身近なこととして、あなたはこれまでに考えたことがありますか。

(は1つ)

- (41.3) 1. 考えたことがある
- (54.1) 2. 考えたことがない
- (2.8) 3. 議論があることを知らない
- (1.9) 無回答

問12. あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字・姓が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いませんか。あなたが結婚している、していないに関わらず、お答えください。

(は1つ)

- (39.1) 1. 旧姓を通称として使用したいと思う
- (58.7) 2. 旧姓を通称として使用したいと思わない
- (2.2) 無回答

ここからは、女性に対する暴力等に関する意識についてお答えをお願いします

問13. 女性に対する暴力の根絶を図るため、あなたが対策が必要だと考えるのはどれですか。

(はいくつでも)

- (78.6) 1. 配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV
- (54.4) 2. 交際相手からの暴力、いわゆるデートDV
- (64.9) 3. つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為
- (72.8) 4. 強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力
- (68.3) 5. 児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、子どもに対する性犯罪や性暴力
- (44.6) 6. 売春や買春
- (58.4) 7. 暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引
- (51.6) 8. セクシュアルハラスメント、いわゆるセクハラ
- (35.6) 9. テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現
- (53.9) 10. インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害
- (48.2) 11. アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な映像の流布
- (2.4) 無回答

(M.T.=633.7)

右のページの問14に進んでください

問 14. 女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、あなたが知っているものをあげてください。

(はいくつでも)

- (4.2) 1 . DV 相談ナビ #8008 ・はれれば
- (3.5) 2 . DV 相談プラス
- (4.2) 3 . 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国共通番号 #8891 ・はやくワンストップ
- (2.2) 4 . 性暴力相談に関する SNS 相談、いわゆる Cure time ・キュアタイム
- (2.6) 5 . 性犯罪被害相談電話に係る全国共通番号 #8103 ・ハートさん
- (21.7) 6 . ひきこもり地域支援センター
- (20.8) 7 . 女性の人権ホットライン
- (37.0) 8 . 自殺対策相談窓口
- (28.9) 9 . こころの健康相談統一ダイヤル
- (8.0) 10 . ハラスメント悩み相談室
- (14.0) 11 . 警察相談専用電話 #9110
- (16.5) 12 . 男女共同参画センター・女性センター
- (33.1) 13 . 知っているものはない
- (2.1) 無回答

13 と答えた方、 (M.T.=198.9)
無回答は問 16 へ

ここからは全員の方がお答えください

問 16. あなたは、女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。

(はいくつでも)

- (34.5) 1 . メールによる相談ができる
- (30.7) 2 . チャット、SNS などによる相談ができる
- (50.2) 3 . 電話による相談ができる
- (55.2) 4 . 通話料が無料
- (65.8) 5 . 24 時間相談ができる
- (60.4) 6 . 医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる
- (37.0) 7 . 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる
- (49.4) 8 . 同性の相談員がいる
- (57.3) 9 . 匿名で相談ができる
- (50.3) 10 . 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
- (37.8) 11 . 臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる
- (43.7) 12 . DV や性暴力に関する専門の相談員がいる
- (4.3) 無回答 (M.T.=576.4)

**問 14 で「13. 知っているものはない」以外に
をつけた方への質問**

問 15. 相談窓口の認知度を向上させるためには、どのような方法による周知が効果的だと思いますか。

(はいくつでも)

(n=1,846)

- (66.4) 1 . テレビ・ラジオ
- (34.1) 2 . 新聞・雑誌
- (20.9) 3 . ポスター・リーフレット
- (48.7) 4 . インターネット・SNS
- (41.7) 5 . 公共施設や行政機関による紹介
- (29.8) 6 . 病院などの医療機関による紹介
- (44.7) 7 . 学校における周知
- (10.2) 無回答 (M.T.=296.5)

右の段の 問 16 に進んでください

次のページの【資料 2】に進んでください

ここからは、男女共同参画社会に関する行政への要望についておうかがいします

全員の方が【資料2】を読んでから下の問17以降にお答えください

【資料2】

「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。

問17. あなたは「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

(はいくつでも)

- (47.9) 1. 法律や制度の面で見直しを行う
- (44.9) 2. 国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- (38.6) 3. 民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する
- (26.6) 4. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- (30.4) 5. 研究者など、従来、女性が少なかった分野への女性の進出を支援する
- (59.3) 6. 保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- (25.5) 7. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- (50.2) 8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- (63.5) 9. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- (62.7) 10. 育児や介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- (19.0) 11. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- (28.5) 12. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
- (1.1) 無回答 (M.T.=498.1)

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします

F1. 差し支えなければ、あなたの戸籍上の性別をお答えください。

(は1つ)

(53.9) 1. 女性 (46.1) 2. 男性

F2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

歳

- (1.4) 18~19歳 (7.8) 40~44歳 (8.4) 65~69歳
- (3.9) 20~24歳 (7.8) 45~49歳 (11.3) 70~74歳
- (4.2) 25~29歳 (9.0) 50~54歳 (7.8) 75~79歳
- (5.2) 30~34歳 (8.6) 55~59歳 (9.7) 80歳以上
- (5.6) 35~39歳 (9.3) 60~64歳

F3. あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわからない場合には、「8.」をつけ、「その他」の欄にできるだけ具体的にお書きください。(は1つ)

- (35.6) 1. 役員を含む、正規の職員・従業員
- (16.6) 2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員
- (6.9) 3. 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業
- (2.5) 4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
- (14.6) 5. 主婦・主夫
- (3.0) 6. 学生
- (17.7) 7. 無職
- (2.6) 8. その他

できるだけ具体的にお書きください。

(0.5) 無回答

右のページのF4に進んでください

F4. あなたは結婚していますか。

(は1つ)

- (65.8) 1 . 結婚している
- (1.9) 2 . 結婚していないがパートナーと暮らしている
- (5.6) 3 . 離別
- (7.2) 4 . 死別
- (19.2) 5 . 未婚
- (0.2) 無回答

F5. あなたにはお子さんがいますか。成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。

(は1つ)

- (72.2) 1 . いる
- (27.5) 2 . いない
- (0.2) 無回答

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の調査についておうかがいします

問A. 今回の調査の答えやすさはどうでしたか。

(は1つ)

- (48.7) 1 . 答えやすかった
- (17.0) 2 . 答えにくかった
- (33.8) 3 . どちらともいえない
- (0.5) 無回答

問B. 今回の調査の分量はどうでしたか。

(は1つ)

- (8.3) 1 . 少ないと感じた
- (75.2) 2 . 適当と感じた
- (15.6) 3 . 多いと感じた
- (0.9) 無回答

問C. 今回の調査への回答に要した時間は、およそどれくらいでしたか。

(は1つ)

- (44.4) 1 . 15分未満
- (45.7) 2 . 15～30分程度
- (9.5) 3 . 30分以上
- (0.4) 無回答

問D. 今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか。

(は1つ)

- (97.9) 1 . 郵便宛名のご本人様
- (1.8) 2 . ご本人様のご意見を代理の方が記入
- (-) 3 . 代理の方(代理の方のご意見を記入)

代理の方が記入された理由をお教えてください。

- (0.3) 無回答